

平成21年度(20年度実施事業)事業評価シート

整理番号	11 - 2	事業名	英語指導助手招致事業				
総合計画	テ	5	心豊かに学びいきいきと活動するまち	担当部	生涯学習部	部長	三国義達
	施	2	学校教育の充実	担当課	学校教育課	課長	池田幸夫
	策 (小)	1	学習内容・学習指導の充実	電話番号	72-3169	担当者	竹瀬直久
予算科目	会計	一般会計	款10 教育費	項1 教育総務費	目2 事務局費	事業名	英語指導助手招致事業費
事務分類	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他						
根拠法令、条例等							
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 平成3年度～未定年度						

事業の内容	対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)	
	市内中学校	対象数 8校
	中学生徒	対象数 1,727人
	目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?)	
	英語教育の充実を図る。	
	手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します)	
	市内中学校に英語指導助手を派遣し、英語教員とともに授業を行う。 指導助手の採用については財団法人自治体国際化協会(CLAIR)の斡旋を受け決定する。	
	事業の背景・個別計画・社会状況・他の類似事業等	
	他の市町村でも同様の事業を実施している。	
	関係する団体等	
	平成20年度に改善した事項・重点的に取り組んだ事項とその成果	
新英語指導助手2名を採用した。		

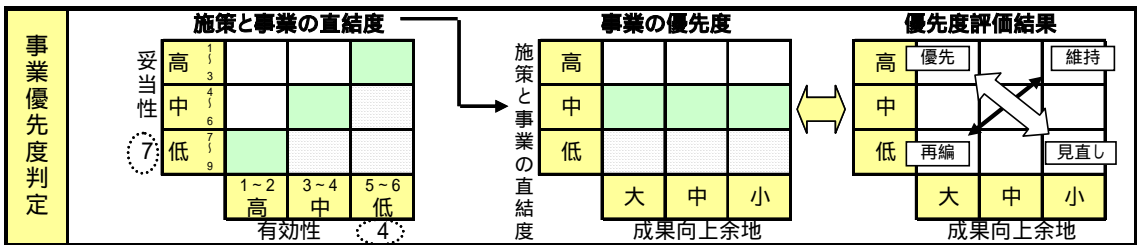
			単位	H18	H19	H20	H21(予算)	
事業のコスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円				
			道支出金	千円				
			地方債	千円				
			その他	千円				
			一般財源	千円	9,777	8,412	8,913	8,452
	小計(A)			千円	9,777	8,412	8,913	8,452
	人件費等	正職員従事人数		人	0.10	0.10	0.10	特定財源名及び補助率・充当率
		従事正職員の人件費		千円	829	897	887	
		その他間接経費		千円				
		小計(B)		千円	829	897	887	
総コスト(A)+(B)			千円	10,606	9,309	9,800		

	指標名	単位	項目	H18	H19	H20	H21	
			目標値	9	8	8	8	
活動指標	指導助手派遣中学校数		実績値	9	8	8		
			達成率	100.0	100.0	100.0		
活動指標			目標値					
			実績値					
			達成率					
				目標値				
				実績値				
				達成率				

成果指標	指標名	単位	H18	H19	H20	H21
	受講生徒数	目標値		1,828	1,831	1,727
実績値			1,828	1,831	1,727	
達成率			100.0	100.0	100.0	
目標値						
実績値						
達成率						

1次評価 担当課長が評価します。								
妥当性	ア 施策との関連 事業の成果と施策の成果とに関連があるか	1 大きい 2 普通 3 小さい	2	有効性	ア 成果 事業の成果は目標を達成しているか	1 すべて達成している 2 一部達成している 3 達成していない	2	
	イ 統合・連携 目的や形態が類似する事業と統合・連携はできないか	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	3		イ 事業内容 目指す成果の実現を図る上で、事業の手段は有効か	1 極めて有効 2 一定の有効性あり 3 有効性が低い	2	
	ウ 市の関与 その事業に市が関与する必要があるかどうか	1 行政にしかできない 2 民間等でもできる 3 民間等でやるべき	2		効率性	ア コスト削減 成果を下げず、コスト削減は可能か	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	2
公平性	ア 受益者負担 受益者負担を見直す必要はないか	1 負担は適正である 2 検討の余地がある 3 見直す必要がある	1	合計	総合評価参考点	7~11 12~15 16~21	A or B B or C D or E	14

総合評価		評価の理由	
C	A:極めて良好、B:良好、C:適正、D:問題がある、E:大きな問題がある	ネイティブスピーカーの英語を聞く機会が確保されている。	
平成22年度の方向性(改革・改善案)		事業の課題	
事業内容		新学習指導要領の中で、外国語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成が求められている。	
事業規模		改革・改善の方向性	
休・廃止		コミュニケーションに必要な英語基礎力(聞く、話す、読む、書く)の向上を図る。	



ここまで担当課長が記載した上で、パブリックコメントを実施し、市民意見を募集します。

1次評価に対する市民意見

2次評価 課長評価に対する市民意見を踏まえて、部長職(もしくは市長)が評価します。	
総合評価	評価の理由及び改革、改善の方向性
B	A:極めて良好、B:良好、C:適正、D:問題がある、E:大きな問題がある
平成22年度の方向性(改革・改善案)	市民意見の反映状況
事業内容	<結果>
事業規模	<左記の理由>

平成21年度(20年度実施事業)事業評価シート

整理番号	11 - 7	事業名	小中学校教育用コンピュータ整備事業										
総合計画	テーマ	5	心豊かに学びいきいきと活動するまち		担当部	生涯学習部	部長	三国 義達					
	施策	2	学校教育の充実		担当課	管理課	課長	新関 正典					
	施策(小)	3	教育環境の整備		電話番号	72-3169	担当者	寺嶋 英樹					
予算科目	会計	一般会計	款	10	教育費	項	2 3	小学校費 中学校費	目	1	学校管理費	事業名	小学校教育用コンピュータ整備事業費 中学校教育用コンピュータ整備事業費
事務分類	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他												
根拠法令、条例等													
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 平成 4 年度 ~ 永続 年度												

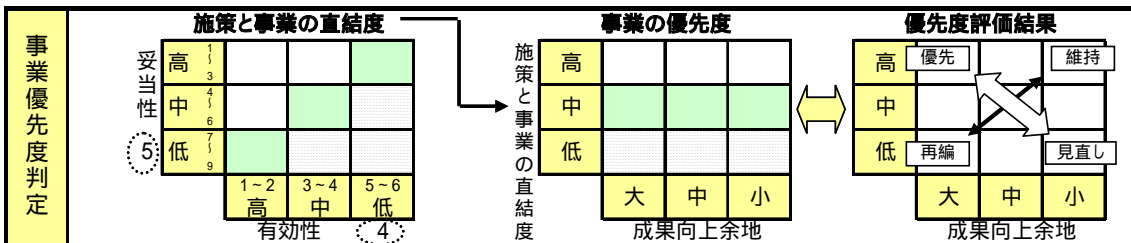
事業の内容	対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)	
	各小・中学校	対象数 22 校
	児童・生徒	対象数 5,118 人
	目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?) → 成果指標	
	コンピュータを使った授業の充実を図る。	
	手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します) → 活動指標	
	児童・生徒が使用するコンピュータを整備する。	
	事業の背景・個別計画・社会状況・他の類似事業等	
	平成2年度に全国の公立の小学校、中学校に教育用コンピュータを整備するための国庫補助制度が創設された。また、平成6年度からは交付税措置され、学校の情報化への対応が求められている。	
	関係する団体等	
平成20年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果		

事業の コスト	事業費	財源内訳	単位	H18	H19	H20	H21(予算)
			国庫支出金	千円			
道支出金	千円						
地方債	千円						
その他	千円						
一般財源	千円		30,765	36,399	39,093	44,753	
小計(A)	千円		30,765	36,399	39,093	44,753	
人件費等	正職員従事人数	人	0.20	0.20	0.20	特定財源名及び補助率・充当率	
	従事正職員の人件費	千円	1,657	1,794	1,773		
	その他間接経費	千円					
	小計(B)	千円	1,657	1,794	1,773		
総コスト(A)+(B)	千円		32,422	38,193	40,866		

活動指標	指標名	単位	項目	H18	H19	H20	H21
				小学校コンピュータ更新数	校	目標値	1
		実績値	1	5	4		
		達成率	100.0	100.0	100.0		
	中学校コンピュータ更新数	校	目標値	1	2	1	1
		実績値	1	2	1		
		達成率	100.0	100.0	100.0		
		目標値					
		実績値					
		達成率					

成果指標	指標名	単位	H18	H19	H20	H21	
	コンピュータ1台あたりの児童・生徒数	人	目標値	未設定	未設定	未設定	3.6
			実績値	8.7	7.7	調査中	
			達成率				
		目標値					
		実績値					
		達成率					

1次評価 担当課長が評価します。								
妥当性	ア 施策との関連 事業の成果と施策の成果とに関連があるか	1 大きい 2 普通 3 小さい	2	有効性	ア 成果 事業の成果は目標を達成しているか	1 すべて達成している 2 一部達成している 3 達成していない	2	
	イ 統合・連携 目的や形態が類似する事業と統合・連携はできないか	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	2		イ 事業内容 目指す成果の実現を図る上で、事業の手段は有効か	1 極めて有効 2 一定の有効性あり 3 有効性が低い	2	
	ウ 市の関与 その事業に市が関与する必要があるかどうか	1 行政にしかできない 2 民間等でもできる 3 民間等でやるべき	1		効率性	ア コスト削減 成果を下げず、コスト削減は可能か	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	2
公平性	ア 受益者負担 受益者負担を見直す必要はないか	1 負担は適正である 2 検討の余地がある 3 見直す必要がある	1	合計	総合評価参考点	7~11 12~15 16~21	A or B B or C D or E	12
総合評価				評価の理由				
C A:極めて良好、B:良好、 C:適正、 D:問題がある、E:大きな問題がある				教育環境の向上が図られている。				
平成22年度の方向性(改革・改善案)				事業の課題				
事業内容				普通教室でコンピュータが使用できる環境が求められている。				
現状維持 一部見直し 大幅見直し				改革・改善の方向性				
事業規模				校内LAN整備の検討を図り、教育用コンピュータの整備台数の拡充を進める。				
拡大方向								
現状維持								
縮小方向								
統合								
休・廃止								



ここまで担当課長が記載した上で、パブリックコメントを実施し、市民意見を募集します。

1次評価に対する市民意見

2次評価 課長評価に対する市民意見を踏まえて、部長職(もしくは市長)が評価します。	
総合評価	評価の理由及び改革、改善の方向性
B A:極めて良好、B:良好、 C:適正、 D:問題がある、E:大きな問題がある	時代のニーズにも合致し、その充実が求められている。その教育的効果から即して評価変更を行う。良好と判断する。今後は21年度整備予定の校内LANを活用し情報教育の推進を図る。
平成22年度の方向性(改革・改善案)	市民意見の反映状況
事業内容	< 結果 >
現状維持 一部見直し 大幅見直し	<input type="checkbox"/> 反映 <input type="checkbox"/> 一部反映 <input type="checkbox"/> 不採用 <input type="checkbox"/> 実施済み <input type="checkbox"/> 参考
事業規模	< 左記の理由 >
拡大方向	
現状維持	
縮小方向	
統合	
休・廃止	

平成21年度(20年度実施事業)事業評価シート

整理番号	11 - 11	事業名	小・中学校校舎等改修事業										
総合計画	マ	5	心豊かに学びいきいきと活動するまち	担当部	生涯学習部	部長	三国 義達						
	策	2	学校教育の充実	担当課	管理課	課長	新関 正典						
	施策(小)	3	教育環境の整備	電話番号	72-3169	担当者	田口 昇						
予算科目	会計	一般会計	款	10	教育費	項	2 3	小学校費 中学校費	目	1	学校施設整備費	事業名	小学校校舎等改修事業 中学校校舎等改修事業
事務分類	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> その他												
根拠法令、条例等													
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 不明年度 ~ 永続年度												

事業の内容	対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)	
	各小学校	対象数 14校
	各中学校	対象数 8校
	目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?) → 成果指標	
	学校施設の安全性、快適性を確保する。	
	手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します) → 活動指標	
	現地調査を行い、緊急性の高いものから順次改修を行う。	
	事業の背景・個別計画・社会状況・他の類似事業等	
	関係する団体等	
	平成20年度に改善した事項・重点的に取り組んだ事項とその成果	

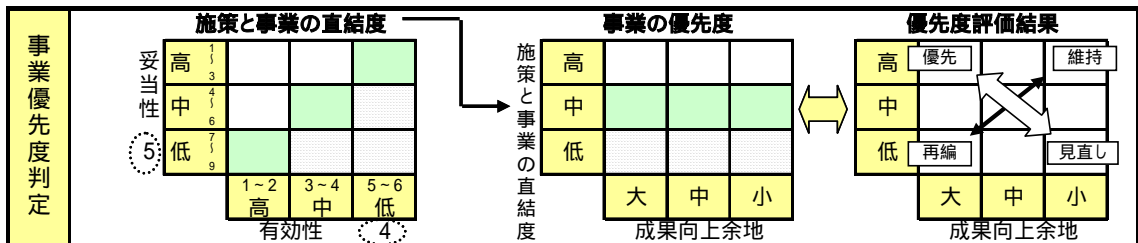
		単位	H18	H19	H20	H21(予算)	
事業のコスト	事業費	財源内訳					
		国庫支出金	千円				
		道支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
	一般財源	千円	8,405	7,308	9,326	3,800	
	小計(A)	千円	8,405	7,308	9,326	3,800	
	人件費等	正職員従事人数	人	0.35	0.35	0.35	特定財源名及び補助率・充当率
		従事正職員の人件費	千円	2,900	3,140	3,103	
		その他間接経費	千円				
小計(B)		千円	2,900	3,140	3,103		
総コスト(A)+(B)	千円	11,305	10,448	12,429			

指標名		単位	項目	H18	H19	H20	H21
活動指標	実施学校数	校	目標値	5	7	4	2
			実績値	5	7	4	
			達成率	100.0	100.0	100.0	
			目標値				
			実績値				
			達成率				

成果指標	指標名	単位	H18	H19	H20	H21	
	改修事業費	目標値	千円	10,412	7,599	11,100	3,800
実績値				8,405	7,308	9,326	
達成率				80.7	96.2	84.0	
目標値							
実績値							
達成率							

1次評価 担当課長が評価します。							
妥当性	ア 施策との関連 事業の成果と施策の成果とに関連があるか	1 大きい 2 普通 3 小さい	2	有効性	ア 成果 事業の成果は目標を達成しているか	1 すべて達成している 2 一部達成している 3 達成していない	2
	イ 統合・連携 目的や形態が類似する事業と統合・連携はできないか	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	2		イ 事業内容 目指す成果の実現を図る上で、事業の手段は有効か	1 極めて有効 2 一定の有効性あり 3 有効性が低い	2
	ウ 市の関与 その事業に市が関与する必要があるかどうか	1 行政にしかできない 2 民間等でもできる 3 民間等でやるべき	1		効率性	ア コスト削減 成果を下げず、コスト削減は可能か	1 不可能である 2 難しい 3 可能である
公平性	ア 受益者負担 受益者負担を見直す必要はないか	1 負担は適正である 2 検討の余地がある 3 見直す必要がある	1	合計	総合評価 参考点	7~11 A or B 12~15 B or C 16~21 D or E	12

総合評価		評価の理由	
C	A:極めて良好、B:良好、 C:適正、 D:問題がある、E:大きな問題がある	良好な教育環境が保たれていると判断する。	
平成22年度の方向性(改革・改善案)		事業の課題	
事業内容		老朽化している施設が増加している。	
事業規模		改革・改善の方向性	
計画的に改修を行う。			



ここまで担当課長が記載した上で、パブリックコメントを実施し、市民意見を募集します。

1次評価に対する市民意見

2次評価 課長評価に対する市民意見を踏まえて、部長職(もしくは市長)が評価します。	
総合評価	評価の理由及び改革、改善の方向性
C	財源確保が一番の課題となる。遅滞なく対策が図られるよう優先順位を精査しながら計画的かつ迅速に改修を進めたいところであるが、各年度の財政事情もあることから、柔軟な対応も心がけたい。
平成22年度の方向性(改革・改善案)	市民意見の反映状況
事業内容	<結果> <input type="checkbox"/> 反映 <input type="checkbox"/> 一部反映 <input type="checkbox"/> 不採用 <input type="checkbox"/> 実施済み <input type="checkbox"/> 参考
事業規模	<左記の理由>

平成21年度(20年度実施事業)事業評価シート

整理番号	11 - 15	事業名	教育振興会活動支援事業										
総合計画	テーマ	5	心豊かに学びいきいきと活動するまち	担当部	生涯学習部	部長	三国 義 達						
	施策	2	学校教育の充実	担当課	管理課	課長	新関 正典						
	施策(小)	7	その他	電話番号	72-3169	担当者	寺嶋 英樹						
予算科目	会計	一般会計	款	10	教育費	項	1	教育総務費	目	4	義務教育振興費	事業名	教育振興会拠出金
事務分類	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他												
根拠法令、条例等	石狩市教育振興事業拠出金交付要綱												
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 平成 ^{不明} 年度 ~ 未定年度												

事業の内容	対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)	
	市内小中学校教職員	対象数 381人
	目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?)	→ 成果指標
	石狩市の教育活動の質的な向上を図る。	
	手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します)	→ 活動指標
	各種研究や研修活動を行う石狩市教育振興会の活動経費の一部を交付する。	
	事業の背景・個別計画・社会状況・他の類似事業等	
	他の市町村でも同様の事業を実施している。	
関係する団体等		
平成20年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果		

事業の コスト	事業費	財源内訳	単位	H18	H19	H20	H21(予算)
			千円				
		国庫支出金	千円				
		道支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円	5,239	4,953	4,948	4,953
		小計(A)	千円	5,239	4,953	4,948	4,953
	人件費等	正職員従事人数	人	0.05	0.05	0.15	特定財源名及び補助率・充当率
		従事正職員の人件費	千円	414	449	1,330	
		その他間接経費	千円				
		小計(B)	千円	414	449	1,330	
		総コスト(A)+(B)	千円	5,653	5,402	6,278	

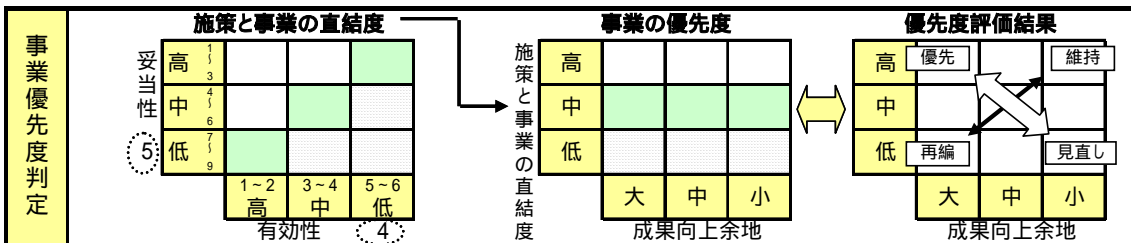
活動指標	指標名	単位	項目	H18	H19	H20	H21	
				未設定	未設定	未設定	未設定	
	学校課題研究発表校	件	目標値					
			実績値	2	2	1		
			達成率					
				目標値				
				実績値				
				達成率				
			目標値					
			実績値					
			達成率					

成果指標	指標名	単位	H18	H19	H20	H21	
	学校課題研究発表参加人数	人	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	30	31	14	
			達成率				
		目標値					
		実績値					
		達成率					

1次評価 担当課長が評価します。

妥当性	ア 施策との関連 事業の成果と施策の成果とに関連があるか	1 大きい 2 普通 3 小さい	2	有効性	ア 成果 事業の成果は目標を達成しているか	1 すべて達成している 2 一部達成している 3 達成していない	2				
	イ 統合・連携 目的や形態が類似する事業と統合・連携はできないか	1 不可能である 2 難しい 3 可能である			2	イ 事業内容 目指す成果の実現を図る上で、事業の手段は有効か		1 極めて有効 2 一定の有効性あり 3 有効性が低い	2		
	ウ 市の関与 その事業に市が関与する必要があるかどうか	1 行政にしかできない 2 民間等でもできる 3 民間等でやるべき						1		効率性	ア コスト削減 成果を下げず、コスト削減は可能か
公平性	ア 受益者負担 受益者負担を見直す必要はないか	1 負担は適正である 2 検討の余地がある 3 見直す必要がある	1	合計			総合評価 参考点				7~11 12~15 16~21

総合評価		評価の理由	
C	A:極めて良好、B:良好、 C:適正、 D:問題がある、E:大きな問題がある	学校が有する教育課題についての研究発表の実施等を通じて子ども達への教育に寄与している。	
	平成22年度の方向性(改革・改善案)	事業の課題	
事業規模	事業内容	様々な新しい現代的課題への対応が必要となっている。	
	現状維持 一部見直し 大幅見直し		
	拡大方向	改革・改善の方向性	
	現状維持 縮小方向 統合 休・廃止	関係機関と連携し、研修内容の充実を図る。	



ここまで担当課長が記載した上で、パブリックコメントを実施し、市民意見を募集します。

1次評価に対する市民意見

2次評価 課長評価に対する市民意見を踏まえて、部長職(もしくは市長)が評価します。

総合評価		評価の理由及び改革、改善の方向性	
B	A:極めて良好、B:良好、 C:適正、 D:問題がある、E:大きな問題がある	教員自らの研究、研修活動において中核をなし、高い貢献性があることから、評価変更を行う。今後は単に活動を支援することのみならず、本市の教育充実に向け共同の取り組みも模索していきたい。	
	平成22年度の方向性(改革・改善案)	市民意見の反映状況	
事業規模	事業内容	<結果>	<左記の理由>
	現状維持 一部見直し 大幅見直し	<input type="checkbox"/> 反映 <input type="checkbox"/> 一部反映 <input type="checkbox"/> 不採用 <input type="checkbox"/> 実施済み <input type="checkbox"/> 参考	
	拡大方向		
	現状維持 縮小方向 統合 休・廃止		

平成21年度(20年度実施事業)事業評価シート

整理番号	11 - 16	事業名	中学校体育連盟活動支援事業							
総合計画	テーマ	5	心豊かに学びいきいきと活動するまち	担当部	生涯学習部	部長	三国 義 達			
	施策	2	学校教育の充実	担当課	管理課	課長	新 関 正 典			
	施策(小)	7	その他	電話番号	72-3169	担当者	寺 嶋 英 樹			
予算科目	会計	一般会計	款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	4 義務教育振興費	事業名	中学校体育連盟補助金
事務分類	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他									
根拠法令、条例等	石狩市中学校体育連盟補助金交付要綱									
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 不明年度 ~ 未定年度									

事業の内容	対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	中体連に参加する生徒数	対象数	不詳
	目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?)	対象数	
	中学校での体育、スポーツの振興と競技力の向上を図る。		
	手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します)		
	石狩市中学校体育連盟の運営及び事業に係る経費を交付する。 中学校体育連盟主催の管内、全道、全国大会に派遣する経費の一部を交付する。		
	事業の背景・個別計画・社会状況・他の類似事業等		
	中学校文化関係コンクールでも同様の事業を実施している。		
	関係する団体等		
	平成20年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果		

		単位	H18	H19	H20	H21(予算)
事業の コスト	事業費	財源内訳				
		国庫支出金	千円			
		道支出金	千円			
		地方債	千円			
		その他	千円			
	一般財源	千円	1,908	1,699	1,785	2,155
	小計(A)	千円	1,908	1,699	1,785	2,155
人件費等	正職員従事人数	人	0.05	0.05	0.05	特定財源名及び補助率・充当率
	従事正職員の人件費	千円	414	449	443	
	その他間接経費	千円				
	小計(B)	千円	414	449	443	
	総コスト(A)+(B)	千円	2,322	2,148	2,228	

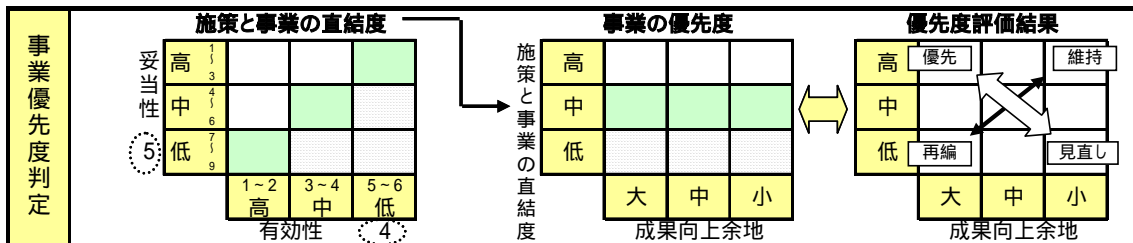
指標名		単位	項目	H18	H19	H20	H21
活動指標	市中学校体育連盟運営大会数	回	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	2	2	2	
			達成率				
	市中学校体育連盟運営種目数	種目	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	16	16	16	
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				

成果指標	指標名	単位	H18	H19	H20	H21	
	全国・全道・管内大会参加種目数	種目	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	44	57	67	
			達成率				
	全国・全道・管内大会派遣人数	人	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	454	485	386	
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				

1次評価 担当課長が評価します。

妥当性	ア 施策との関連 事業の成果と施策の成果とに関連があるか	1 大きい 2 普通 3 小さい	2	有効性	ア 成果 事業の成果は目標を達成しているか	1 すべて達成している 2 一部達成している 3 達成していない	2	
	イ 統合・連携 目的や形態が類似する事業と統合・連携はできないか	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	2		イ 事業内容 目指す成果の実現を図る上で、事業の手段は有効か	1 極めて有効 2 一定の有効性あり 3 有効性が低い	2	
	ウ 市の関与 その事業に市が関与する必要があるかどうか	1 行政にしかできない 2 民間等でもできる 3 民間等でやるべき	1		効率性	ア コスト削減 成果を下げず、コスト削減は可能か	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	2
公平性	ア 受益者負担 受益者負担を見直す必要は無い	1 負担は適正である 2 検討の余地がある 3 見直す必要がある	1	合計	総合評価 参考点	7~11 12~15 16~21	A or B B or C D or E	12

総合評価		評価の理由		
C	A:極めて良好、B:良好、 C:適正、 D:問題がある、E:大きな問題がある	スポーツの振興、競技力の向上が図られている。		
	平成22年度の方向性(改革・改善案)	事業の課題		
事業規模	事業内容		部活動における指導者の確保が難しくなっている。	
	現状維持	一部見直し		大幅見直し
	拡大方向			
	現状維持			
	縮小方向			
	統合		改革・改善の方向性	
	休・廃止		地域や外部指導者の協力を得るなどサポート体制の充実を図る。	



ここまで担当課長が記載した上で、パブリックコメントを実施し、市民意見を募集します。

1次評価に対する市民意見

2次評価 課長評価に対する市民意見を踏まえて、部長職(もしくは市長)が評価します。

総合評価		評価の理由及び改革、改善の方向性		
B	A:極めて良好、B:良好、 C:適正、 D:問題がある、E:大きな問題がある	事業の妥当性、有効性を考慮し評価変更を行う。今後も中学生のスポーツ活動の奨励に努めたい。		
	平成22年度の方向性(改革・改善案)	市民意見の反映状況		
事業規模	事業内容		<結果> <input type="checkbox"/> 反映 <input type="checkbox"/> 一部反映 <input type="checkbox"/> 不採用 <input type="checkbox"/> 実施済み <input type="checkbox"/> 参考	
	現状維持	一部見直し		大幅見直し
	拡大方向			
	現状維持			
	縮小方向			
	統合		<左記の理由>	
	休・廃止			

平成21年度(20年度実施事業)事業評価シート

整理番号 11 - 17		事業名 中学生文化関係コンクール等参加活動支援事業									
総合計画	テマ	5	心豊かに学びいきいきと活動するまち	担当部	生涯学習部	部長	三国 義達				
	施策	2	学校教育の充実	担当課	管理課	課長	新関 正典				
	施策(小)	7	その他	電話番号	72-3169	担当者	寺嶋 英樹				
予算科目	会計	一般会計	款10	教育費	項1	教育総務費	目4	義務教育振興費	事業名	中学生文化関係コンクール等参加費補助金	
事務分類		<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 → <input type="checkbox"/> 直営 → <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他									
根拠法令、条例等		石狩市中学校文化関係コンクール等参加費補助金交付要綱									
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 平成 19 年度 ~ 未定 年度									

事業の内容	対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)					
	文化関係コンクール等参加する生徒数	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">対象数</td> <td>不詳</td> </tr> <tr> <td>対象数</td> <td></td> </tr> </table>	対象数	不詳	対象数	
	対象数	不詳				
	対象数					
	目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?) ➡ 成果指標					
	中学校文化活動の振興を図る。					
	手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します) ➡ 活動指標					
	管内、全道、全国の各コンクールに参加する経費の一部を交付する。					
	事業の背景・個別計画・社会状況・他の類似事業等					
	中学校体育連盟主催競技大会でも同様の事業を実施している。					
関係する団体等						
平成20年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果						

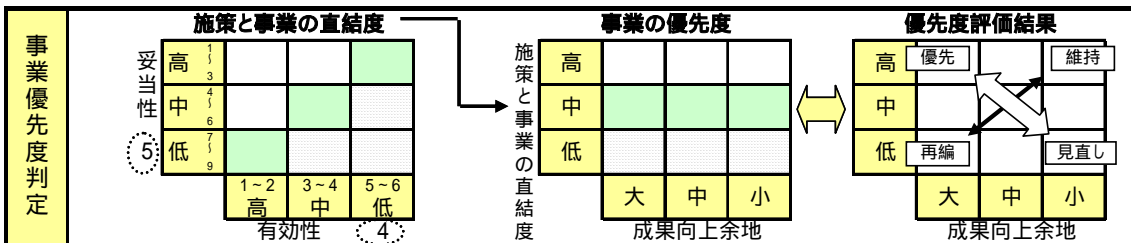
		単位	H18	H19	H20	H21(予算)	
事業のコスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円			
			道支出金	千円			
			地方債	千円			
			その他	千円			
			一般財源	千円		344	88
		小計(A)	千円		344	88	550
	人件費等	正職員従事人数	人		0.05	0.05	特定財源名及び補助率・充当率
		従事正職員の人件費	千円		449	443	
		その他間接経費	千円				
		小計(B)	千円		449	443	
総コスト(A)+(B)		千円		793	531		

	指標名	単位	項目	H18	H19	H20	H21
					未設定	未設定	未設定
活動指標	全国・全道・管内コンクール参加数	校	目標値				
			実績値		2	2	
			達成率				
		目標値					
		実績値					
		達成率					
	目標値						
	実績値						
	達成率						

成果指標	指標名	単位	H18	H19	H20	H21	
	全国・全道・管内コンクール生徒数	人	目標値		未設定	未設定	未設定
			実績値		43	76	
			達成率				
		目標値					
		実績値					
		達成率					

1次評価 担当課長が評価します。								
妥当性	ア 施策との関連 事業の成果と施策の成果とに関連があるか	1 大きい 2 普通 3 小さい	2	有効性	ア 成果 事業の成果は目標を達成しているか	1 すべて達成している 2 一部達成している 3 達成していない	2	
	イ 統合・連携 目的や形態が類似する事業と統合・連携はできないか	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	2		イ 事業内容 目指す成果の実現を図る上で、事業の手段は有効か	1 極めて有効 2 一定の有効性あり 3 有効性が低い	2	
	ウ 市の関与 その事業に市が関与する必要があるかどうか	1 行政にしかできない 2 民間等でもできる 3 民間等でやるべき	1		効率性	ア コスト削減 成果を下げず、コスト削減は可能か	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	2
公平性	ア 受益者負担 受益者負担を見直す必要はないか	1 負担は適正である 2 検討の余地がある 3 見直す必要がある	1	合計	総合評価参考点	7~11 12~15 16~21	A or B B or C D or E	12

総合評価		評価の理由	
C	A:極めて良好、B:良好、C:適正、D:問題がある、E:大きな問題がある	中学校における文化活動の振興が図られている。	
	平成22年度の方向性(改革・改善案)	事業の課題	
事業規模	事業内容		平成19年度より事業を実施しているため、数年の事業推移を見る必要がある。
		現状維持 一部見直し 大幅見直し	
	拡大方向		
	現状維持		
	縮小方向		
	統合		改革・改善の方向性
	休・廃止		多くの学校の文化活動が一層活性化されることを期待し、事業を継続していく。



ここまで担当課長が記載した上で、パブリックコメントを実施し、市民意見を募集します。

1次評価に対する市民意見

2次評価 課長評価に対する市民意見を踏まえて、部長職(もしくは市長)が評価します。	
総合評価	評価の理由及び改革、改善の方向性
B	A:極めて良好、B:良好、C:適正、D:問題がある、E:大きな問題がある 事業の妥当性、有効性を考慮し評価変更を行う。今後も中学生の文化活動の奨励に努めたい。
平成22年度の方向性(改革・改善案)	市民意見の反映状況
事業内容	<結果> <input type="checkbox"/> 反映 <input type="checkbox"/> 一部反映 <input type="checkbox"/> 不採用 <input type="checkbox"/> 実施済み <input type="checkbox"/> 参考
事業規模	<左記の理由>

平成21年度(20年度実施事業)事業評価シート

整理番号	12 - 3	事業名	沖縄県恩納村交流事業							
総合計画	マ	5	心豊かに学びいきいきと活動するまち	担当部	生涯学習部	部長	三国 義達			
	策	6	国内・国際交流の推進	担当課	管理課	課長	新関 正典			
	策(小)	5	その他	電話番号	72-3169	担当者	寺嶋 英樹			
予算科目	会計	一般会計	款10	教育費	項1	教育総務費	目4	義務教育振興費	事業名	沖縄県恩納村交流事業拠出金
事務分類	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他									
根拠法令、条例等	石狩市・恩納村生徒交流事業実施要綱									
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 平成 2 年度 ~ 未定 年度									

事業の内容	対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)	
	市内中学校生徒	対象数 不詳
	目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?)	成果指標
	沖縄県恩納村と石狩市との相互の交流を促進する。	
	手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します)	活動指標
	交流する中学生の派遣及び受け入れを行う石狩市・恩納村生徒交流委員会に対し、交流経費の一部を交付する。	
	事業の背景・個別計画・社会状況・他の類似事業等	
	恩納村は昭和62年、石狩市は平成元年にそれぞれ国体の「ソフトボール」競技開催地となったことから交流が始まった。	
	関係する団体等	
	平成20年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果	
厚田中学校、聚富中学校が新たに民泊受入校として参加した。		

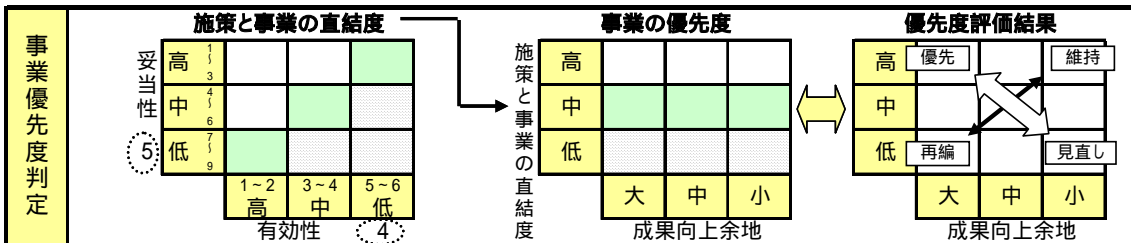
事業の コスト	事業費	財源内訳	単位	H18	H19	H20	H21(予算)
			千円				
		国庫支出金	千円				
		道支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円	300	510	90	600
		小計(A)	千円	300	510	90	600
	人件費等	正職員従事人数	人	0.20	0.20	0.20	特定財源名及び補助率・充当率
		従事正職員の人件費	千円	1,657	1,794	1,773	
		その他間接経費	千円				
		小計(B)	千円	1,657	1,794	1,773	
		総コスト(A)+(B)	千円	1,957	2,304	1,863	

活動指標	指標名	単位	項目	H18	H19	H20	H21
活動指標	派遣回数	回	目標値	0	1	0	1
			実績値	0	1	0	
			達成率		100.0		
	受入回数	回	目標値	1	0	1	
			実績値	1	0	1	
			達成率	100.0		100.0	
			目標値				
			実績値				
			達成率				

成果指標	指標名	単位	H18	H19	H20	H21
	派遣生徒数	人	目標値 実績値 達成率		25 22 88.0	
受入生徒数	人	目標値 実績値 達成率	25 25 100.0		25 24 96.0	
		目標値 実績値 達成率				

1次評価 担当課長が評価します。								
妥当性	ア 施策との関連 事業の成果と施策の成果とに関連があるか	1 大きい 2 普通 3 小さい	2	有効性	ア 成果 事業の成果は目標を達成しているか	1 すべて達成している 2 一部達成している 3 達成していない	2	
	イ 統合・連携 目的や形態が類似する事業と統合・連携はできないか	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	2		イ 事業内容 目指す成果の実現を図る上で、事業の手段は有効か	1 極めて有効 2 一定の有効性あり 3 有効性が低い	2	
	ウ 市の関与 その事業に市が関与する必要があるかどうか	1 行政にしかできない 2 民間等でもできる 3 民間等でやるべき	1		効率性	ア コスト削減 成果を下げず、コスト削減は可能か	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	2
公平性	ア 受益者負担 受益者負担を見直す必要は無い	1 負担は適正である 2 検討の余地がある 3 見直す必要がある	3	合計	総合評価 参考点	7~11 12~15 16~21	A or B B or C D or E	14

総合評価		評価の理由	
C	A:極めて良好、B:良好、 C:適正、 D:問題がある、E:大きな問題がある	生徒同士の交流が図られている。	
平成22年度の方向性(改革・改善案)		事業の課題	
事業内容		派遣経費の大半は参加者の自己負担金となっている。 派遣の際の引率人数が少ないため、同行する引率教諭の負担が過大となっている。	
事業規模		改革・改善の方向性	
現状維持 一部見直し 大幅見直し		引率教員の負担軽減を図る。	



ここまで担当課長が記載した上で、パブリックコメントを実施し、市民意見を募集します。

1次評価に対する市民意見

2次評価 課長評価に対する市民意見を踏まえて、部長職(もしくは市長)が評価します。			
総合評価		評価の理由及び改革、改善の方向性	
A	A:極めて良好、B:良好、 C:適正、 D:問題がある、E:大きな問題がある	多感な少年期において、教育上非常に有意義な事業と高く評価する。今後とも継続して取り組みたい。	
平成22年度の方向性(改革・改善案)		市民意見の反映状況	
事業内容		<結果>	
現状維持 一部見直し 大幅見直し		<input type="checkbox"/> 反映 <input type="checkbox"/> 一部反映 <input type="checkbox"/> 不採用 <input type="checkbox"/> 実施済み <input type="checkbox"/> 参考	
事業規模		<左記の理由>	
拡大方向 現状維持 縮小方向 統合 休・廃止			

平成21年度(20年度実施事業)事業評価シート

整理番号		11 - 1		事業名		学校支援事業	
総合計画	テ	マ	5	心豊かに学びいきと活動するまち		担当部	生涯学習部
	施	策	2	学校教育の充実		担当課	学校教育課
	施	策(小)	1	学習内容・学習指導の充実		電話番号	72-3171
	担当					担当者	佐々木宏嘉
予算科目	会計	一般会計	款	10	教育費	項	1
					教育総務費	目	4
事務分類		<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務		<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他		事業名	
根拠法令、条例等							
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 平成 18 年度 ~ 未定 年度					

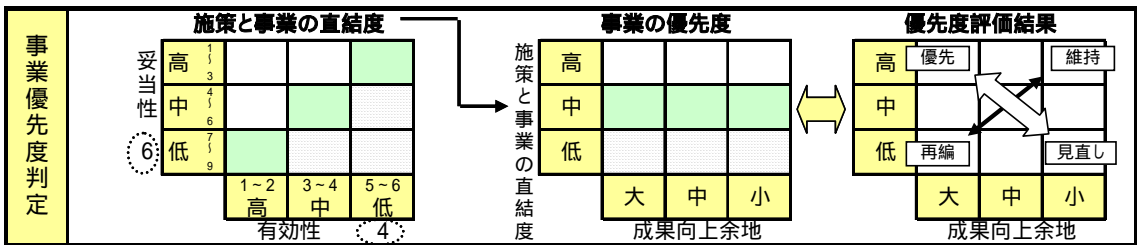
事業の内容	対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	市内小中学校	対象数	22 校
	目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?)		
	児童生徒の学習活動が充実するようにする。		→ 成果指標
	手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します)		
	1 「総合的な学習の時間」等に活用できる地域資料や利用方法をまとめた「地域学習活動ハンドブック」を作成し、各学校に配布する。		→ 活動指標
	2 近郊の大学生や市内在住の人的資源(教員経験者)など外部指導者SAT(スクール・アシスタント・ティーチャー・ボランティア)を登用し、授業補助(つまりいている児童生徒への個別指導や小テストの採点など)を行う。		
	事業の背景・個別計画・社会状況・他の類似事業等		
他市町村でも同様の事業を実施している			
関係する団体等			
平成20年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			
学校が主体的に進められるよう、マニュアル(地域活動ハンドブック)の内容や形態を工夫し、発行部数も必要最小限とした。また、人材の確保が困難となっており、各小中学校独自の人材確保も推進した。			

		単位	H18	H19	H20	H21(予算)	
事業のコスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円			
			道支出金	千円			
			地方債	千円			
			その他	千円			
			一般財源	千円	9,257	8,723	8,635
	小計(A)		千円	9,257	8,723	8,635	8,980
	人件費等	正職員従事人数	人	1.05	1.05	1.05	特定財源名及び補助率・充当率
		従事正職員の人件費	千円	8,699	9,420	9,308	
		その他間接経費	千円				
		小計(B)	千円	8,699	9,420	9,308	
総コスト(A)+(B)		千円	17,956	18,143	17,943		

指標名		単位	項目	H18	H19	H20	H21
活動指標	総合学習相談件数	件	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	67	61	43	
			達成率				
	外部指導者SATの年間延べ配置日数	日	目標値	1,112	1,109	963	834
			実績値	998	857	809	
			達成率	89.7	77.3	84.0	
	ハンドブック作成数	冊	目標値	134	130	66	63
			実績値	134	130	66	
			達成率	100.0	100.0	100.0	

成果指標	指標名	単位	H18	H19	H20	H21
	地域教育資源を活用した学習を体験した延べ児童生徒数	目標値	人	8,294	8,168	7,932
実績値			4,304	6,089	12,907	
達成率			51.9	74.5	162.7	
外部指導者SATの充足率(配置日数/学校希望日数)	目標値	%	60	60	60	60
	実績値		54	46	50	
	達成率		90.0	76.7	83.3	
	目標値					
	実績値					
	達成率					

1次評価 担当課長が評価します。								
妥当性	ア 施策との関連 事業の成果と施策の成果とに関連があるか	1 大きい 2 普通 3 小さい	2	有効性	ア 成果 事業の成果は目標を達成しているか	1 すべて達成している 2 一部達成している 3 達成していない	2	
	イ 統合・連携 目的や形態が類似する事業と統合・連携はできないか	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	2		イ 事業内容 目指す成果の実現を図る上で、事業の手段は有効か	1 極めて有効 2 一定の有効性あり 3 有効性が低い	2	
	ウ 市の関与 その事業に市が関与する必要があるかどうか	1 行政にしかできない 2 民間等でもできる 3 民間等でやるべき	2		効率性	ア コスト削減 成果を下げず、コスト削減は可能か	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	2
公平性	ア 受益者負担 受益者負担を見直す必要はないか	1 負担は適正である 2 検討の余地がある 3 見直す必要がある	2	合計	総合評価 参考点	7~11 12~15 16~21	A or B B or C D or E	14
総合評価				評価の理由				
C	A:極めて良好、B:良好、C:適正、D:問題がある、E:大きな問題がある			小中学校の総合的な学習において地域の教育資源が十分に活用され、子ども一人一人に合わせた学びを進めるために、SATが有効に機能している。				
平成22年度の方向性(改革・改善案)				事業の課題				
事業規模	事業内容			「新学習指導要領」に応じた総合学習の時間や実施内容の見直しが必要である。また、SATは、学生の確保が年々困難になってきている。				
	現状維持 一部見直し 大幅見直し							
	拡大方向							
	現状維持							
	縮小方向							
改革・改善の方向性				「新学習指導要領」に即した情報を提供する。SATにおける学生以外の人材確保を図る。				
統合								
休・廃止								



ここまで担当課長が記載した上で、パブリックコメントを実施し、市民意見を募集します。

1次評価に対する市民意見

2次評価 課長評価に対する市民意見を踏まえて、部長職(もしくは市長)が評価します。	
総合評価	評価の理由及び改革、改善の方向性
A	A:極めて良好、B:良好、C:適正、D:問題がある、E:大きな問題がある
平成22年度の方向性(改革・改善案)	SATの必要性・取り組みを高く評価し、評価変更を行う。今後はさらに学習支援向上に向け、スタッフを強化するなど、見直し・拡大を図る。
市民意見の反映状況	
事業内容	<結果>
現状維持 一部見直し 大幅見直し	<左記の理由>
拡大方向	<input type="checkbox"/> 反映
現状維持	<input type="checkbox"/> 一部反映
縮小方向	<input type="checkbox"/> 不採用
統合	<input type="checkbox"/> 実施済み
休・廃止	<input type="checkbox"/> 参考

平成21年度(20年度実施事業)事業評価シート

整理番号	5 - 4	事業名	生涯学習推進事業										
総合計画	テーマ	5	心豊かに学びいきいきと活動するまち	担当部	生涯学習部	部長	三国 義 達						
	施策	1	生涯学習の推進	担当課	社会教育課	課長	清水 雅 季						
	施策(小)	2	学習機会の整備・充実	電話番号	72 - 3173	担当者	板谷 英 郁						
予算科目	会計	一般	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	1	社会教育総務費	事業名	生涯学習推進事業費
事務分類	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 → <input checked="" type="checkbox"/> 直営 → <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他												
根拠法令、条例等													
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 平成 <small>不明</small> 年度 ~ 未定 年度												

事業の内容	対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)	石狩市民	対象数	60000	
			対象数		
	目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?)				→ 成果指標
		学習機会を選択しながら、生涯にわたって学び続けられる環境を整える。			
	手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します)				→ 活動指標
		学習・講座情報の発信 社会教育関係団体の登録により施設利用料の減免措置をし、活動を支援する。 まちづくり出前講座の開催 生涯学習推進アドバイザーの活用による活動サポート			
	事業の背景・個別計画・社会状況・他の類似事業等	全国的に、団塊世代の大量退職とそれによって加速される高齢化社会を迎えての生きがいづくりが必要とされている。			
	関係する団体等	石狩市社会教育関係団体			
	平成20年度に改善した事項・重点的に取り組んだ事項とその成果	まちづくり出前講座のメニューを更新した。 プログラムバンク事業は、いしかり市民カレッジの中で形態を変えて展開することとした。			

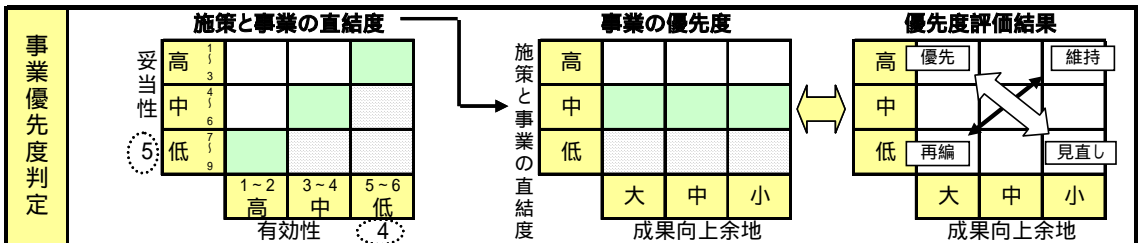
事業の コスト	事業費	財源内訳	単位	H18	H19	H20	H21(予算)
			国庫支出金	千円			
道支出金	千円						
地方債	千円						
その他	千円						
一般財源	千円		3,668	1,798	1,744	1,775	
小計(A)	千円		3,668	1,798	1,744	1,775	
人件費等	正職員従事人数	人	0.20	0.20	0.10	特定財源名及び補助率・充当率	
	従事正職員の人件費	千円	1,657	1,794	887		
	その他間接経費	千円					
	小計(B)	千円	1,657	1,794	887		
総コスト(A)+(B)	千円		5,325	3,592	2,631		

活動指標	指標名	単位	項目	H18	H19	H20	H21
				まちづくり出前講座の講座数	講座	目標値	76
		実績値	62	62	64		
		達成率	81.6	86.1	106.7		
生涯学習アドバイザーの人数	人	目標値	2	2	1	1	
		実績値	2	2	1		
		達成率	100.0	100.0	100.0		
		目標値					
		実績値					
		達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		

成果指標	指標名	単位	H18	H19	H20	H21	
	まちづくり出前講座利用回数	目標値	回	62	62	64	64
		実績値		30	46	39	
		達成率		48.4	74.2	60.9	
まちづくり出前講座利用者数	目標値		未設定	未設定	未設定	未設定	
	実績値		1,407	1,423	1,025		
	達成率		#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		
プログラムバンク登録数	目標値		30	30	30	30	
	実績値		33	33	33		
	達成率		110.0	110.0	110.0		

1次評価 担当課長が評価します。								
妥当性	ア 施策との関連 事業の成果と施策の成果とに関連があるか	1 大きい 2 普通 3 小さい	1	有効性	ア 成果 事業の成果は目標を達成しているか	1 すべて達成している 2 一部達成している 3 達成していない	2	
	イ 統合・連携 目的や形態が類似する事業と統合・連携はできないか	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	2		イ 事業内容 目指す成果の実現を図る上で、事業の手段は有効か	1 極めて有効 2 一定の有効性あり 3 有効性が低い	2	
	ウ 市の関与 その事業に市が関与する必要があるかどうか	1 行政にしかできない 2 民間等でもできる 3 民間等でやるべき	2		効率性	ア コスト削減 成果を下げず、コスト削減は可能か	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	2
公平性	ア 受益者負担 受益者負担を見直す必要はないか	1 負担は適正である 2 検討の余地がある 3 見直す必要がある	2	合計	総合評価 参考点	7~11 12~15 16~21	A or B B or C D or E	13

総合評価		評価の理由	
C	A:極めて良好、B:良好、 C:適正、 D:問題がある、E:大きな問題がある	「まちづくり出前講座」の利用は伸びており、全体として適正であるとする。	
平成22年度の方向性(改革・改善案)		事業の課題	
事業内容		「プログラムバンク事業」は登録、利用とも、動きが見られないことから、事業の見直しが必要である。	
事業規模		改革・改善の方向性	
現状維持 一部見直し 大幅見直し		「いしかり市民カレッジ」の取り組みの中で、講師の登録制度を取り入れるなど、「プログラムバンク事業」のあり方を検討し、より利用度の高い制度になるよう見直す。	



ここまで担当課長が記載した上で、パブリックコメントを実施し、市民意見を募集します。

1次評価に対する市民意見

2次評価 課長評価に対する市民意見を踏まえて、部長職(もしくは市長)が評価します。			
総合評価		評価の理由及び改革、改善の方向性	
C	A:極めて良好、B:良好、 C:適正、 D:問題がある、E:大きな問題がある	課長評価どおりとする。非常に人気の高い市民カレッジでは非人材、プログラムバンク等のデータ登録化を進めたい。	
平成22年度の方向性(改革・改善案)		市民意見の反映状況	
事業内容		<結果>	<左記の理由>
現状維持 一部見直し 大幅見直し		<input type="checkbox"/> 反映 <input type="checkbox"/> 一部反映 <input type="checkbox"/> 不採用 <input type="checkbox"/> 実施済み <input type="checkbox"/> 参考	
事業規模			
拡大方向 現状維持 縮小方向 統合 休・廃止			

平成21年度(20年度実施事業)事業評価シート (教育委員会評価)

整理番号	教 - 1									
事業名	市民文化祭交付金事務									
総合計画	テ	マ	5	心豊かに学びいきいきと活動するまち	担当部	生涯学習部	部長	三国 義 達		
	施	策	4	芸術・文化の振興	担当課	社会教育課	課長	清水 雅 季		
	施	策 (小)	1	芸術・文化団体の支援や文化交流	電話番号	72-3173	担当者	板谷 英 郁		
予算科目	会計	一般	款	10 教育費	項	5 社会教育費	目	4 文化振興事業	事業名	市民文化祭交付金
事務分類	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="checked" type="checkbox"/> 自治事務 <input checked="checked" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他									
根拠法令、条例等	社会教育法、石狩市社会教育委員条例、石狩市社会教育委員の会議運営に関する規則									
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="checked" type="checkbox"/> 平成 年度 ~ 永続 年度									

事業の内容	対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)	石狩市民		対象数	60,000	
					対象数	
	目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?)	→ 成果指標				
	文化活動をする人が発表できる場を提供し活動を拡大する。 市民が文化芸術活動に触れる機会を提供する。					
	手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します)	→ 活動指標				
	市民の芸術文化発表の場を作り出す市民文化祭実行委員会に交付金を交付する。 主催事業 市民発表：石狩会場(舞台・展示)、厚田会場、浜益会場) クリスマスコンサート 共催事業 ライオンズコンサート いしかり菊花展 協賛事業 オータムコンサート					
	事業の背景・個別計画・社会状況・他の類似事業等	参加者の高齢化により、活動が難しくなる団体が増えている。				
	関係する団体等					
	平成20年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果	より主体的な活動をするために、平成19年度からはじめた広告料収入等による自己資金確保の安定化				

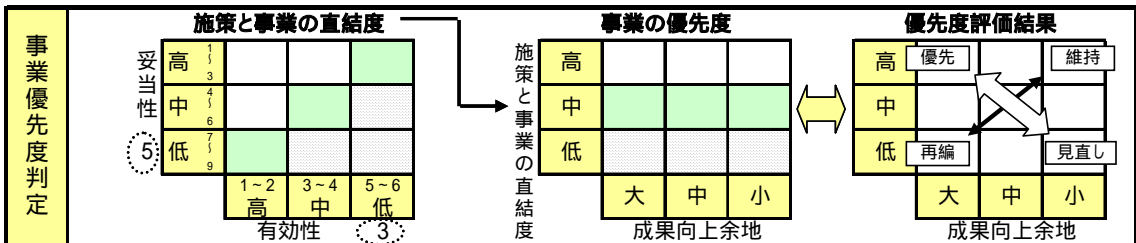
		単位	H18	H19	H20	H21(予算)		
事業のコスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円				
			道支出金	千円				
			地方債	千円				
			その他	千円				
			一般財源	千円	1,190	952	952	952
		小計(A)	千円	1,190	952	952	952	
	人件費等	人件費等	正職員従事人数	人	0.40	0.40	0.45	特定財源名及び補助率・充当率
			従事正職員の人件費	千円	3,314	3,588	3,989	
			その他間接経費	千円				
小計(B)			千円	3,314	3,588	3,989		
	総コスト(A)+(B)	千円	4,504	4,540	4,941			

		単位	項目	H18	H19	H20	H21	
活動指標	実行委員会・準備委員会・代表者会議開催数	件	目標値	8	8	8	8	
			実績値	8	8	8		
			達成率	100.0	100.0	100.0		
	主催・共催・協賛事業数	件	目標値	5	5	5	5	
			実績値	5	5	5		
			達成率	100.0	100.0	100.0		
				目標値				
				実績値				
				達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	

成果指標	指標名		単位	H18	H19	H20	H21
	入場者延べ人数	目標値	人	未設定	未設定	未設定	6,193
		実績値		5,502	5,584	6,193	
		達成率		#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
	参加数	目標値	団体・個人	未設定	未設定	未設定	171
		実績値		177	188	171	
		達成率		#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
	目標値						
	実績値						
	達成率		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		

1次評価 担当課長が評価します。							
妥当性	ア 施策との関連 事業の成果と施策の成果とに関連があるか	1 大きい 2 普通 3 小さい	1	有効性	ア 成果 事業の成果は目標を達成しているか	1 すべて達成している 2 一部達成している 3 達成していない	2
	イ 統合・連携 目的や形態が類似する事業と統合・連携はできないか	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	2		イ 事業内容 目指す成果の実現を図る上で、事業の手段は有効か	1 極めて有効 2 一定の有効性あり 3 有効性が低い	1
	ウ 市の関与 その事業に市が関与する必要があるかどうか	1 行政にしかできない 2 民間等でもできる 3 民間等でやるべき	2		効率性	ア コスト削減 成果を下げず、コスト削減は可能か	1 不可能である 2 難しい 3 可能である
公平性	ア 受益者負担 受益者負担を見直す必要は無い	1 負担は適正である 2 検討の余地がある 3 見直す必要がある	1	合計	総合評価 参考点	7~11 A or B 12~15 B or C 16~21 D or E	11

総合評価		評価の理由	
B	A:極めて良好、B:良好、 C:適正、 D:問題がある、E:大きな問題がある	事業内容を充実させるため、実行委員会自らが新たな自主財源の確保を図るなどの動きが生まれてきている。	
平成22年度の方向性(改革・改善案)		事業の課題	
事業内容 現状維持 一部見直し 大幅見直し		市民の主体的な動きをさらに高めるため、文化祭の事務局機能を市から文化協会へ移行するための下地づくりが必要となっている。	
事業規模	拡大方向 現状維持 縮小方向 統合 休・廃止	改革・改善の方向性	
		事務局機能を移行させる経過措置として、社会教育課に文化芸術振興に関する専門職員を配置する。	



ここまで担当課長が記載した上で、パブリックコメントを実施し、市民意見を募集します。

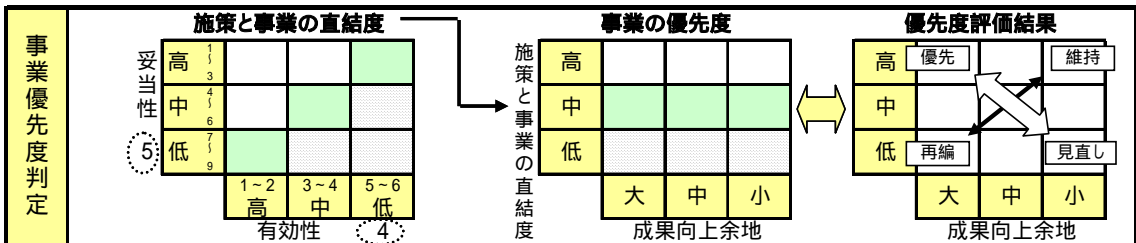
1次評価に対する市民意見

2次評価 課長評価に対する市民意見を踏まえて、部長職(もしくは市長)が評価します。			
総合評価		評価の理由及び改革、改善の方向性	
B	A:極めて良好、B:良好、 C:適正、 D:問題がある、E:大きな問題がある	課長評価を是とする。ただし改善の方向については、市民や関係団体の協力を得る方策も併せて検討する必要がある。	
平成22年度の方向性(改革・改善案)		市民意見の反映状況	
事業内容 現状維持 一部見直し 大幅見直し		<結果>	<左記の理由>
事業規模	拡大方向 現状維持 縮小方向 統合 休・廃止	<input type="checkbox"/> 反映 <input type="checkbox"/> 一部反映 <input type="checkbox"/> 不採用 <input type="checkbox"/> 実施済み <input type="checkbox"/> 参考	

成果指標	指標名	単位	H18	H19	H20	H21
	施設利用日数 (ホール、ロフト、練習室の合計)	目標値	日	未設定	未設定	未設定
実績値			134	125	146	
達成率			#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
来場者数(他会場開催も含む)	目標値	人	未設定	未設定	未設定	2,960
	実績値		2,916	2,960	6,510	
	達成率		#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
	目標値					
	実績値					
	達成率		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	

1次評価 担当課長が評価します。								
妥当性	ア 施策との関連 事業の成果と施策の成果とに関連があるか	1 大きい 2 普通 3 小さい	1	有効性	ア 成果 事業の成果は目標を達成しているか	1 すべて達成している 2 一部達成している 3 達成していない	2	
	イ 統合・連携 目的や形態が類似する事業と統合・連携はできないか	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	2		イ 事業内容 目指す成果の実現を図る上で、事業の手段は有効か	1 極めて有効 2 一定の有効性あり 3 有効性が低い	2	
	ウ 市の関与 その事業に市が関与する必要があるかどうか	1 行政にしかできない 2 民間等でもできる 3 民間等でやるべき	2		効率性	ア コスト削減 成果を下げず、コスト削減は可能か	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	2
公平性	ア 受益者負担 受益者負担を見直す必要はないか	1 負担は適正である 2 検討の余地がある 3 見直す必要がある	1	合計	総合評価 参考点	7~11 12~15 16~21	A or B B or C D or E	12

総合評価		評価の理由	
B	A:極めて良好、B:良好、 C:適正、 D:問題がある、E:大きな問題がある	施設オープンから現在まで、これまで鑑賞が難しかった展示・演劇・コンサートなど、多くの鑑賞機会を市内において確実に提供してきている。	
	平成22年度の方向性(改革・改善案)	事業の課題	
事業規模	事業内容	施設管理に関わる人員配置がなされていないため、ボランティア等によりまかなっており相当なエネルギーが必要となっている。より多くの市民で支える仕組みづくりが必要。	
	現状維持 一部見直し 大幅見直し	改革・改善の方向性	
	拡大方向 現状維持 縮小方向 統合 休・廃止	施設管理を無理なくスムーズに進めるため、利用する市民も施設管理に参加できるような仕掛けづくりをNPO法人とともに検討し実施する。	



ここまで担当課長が記載した上で、パブリックコメントを実施し、市民意見を募集します。

1次評価に対する市民意見

2次評価 課長評価に対する市民意見を踏まえて、部長職(もしくは市長)が評価します。			
総合評価		評価の理由及び改革、改善の方向性	
B	A:極めて良好、B:良好、 C:適正、 D:問題がある、E:大きな問題がある	課長評価のとおりとする。	
	平成22年度の方向性(改革・改善案)	市民意見の反映状況	
事業規模	事業内容	<結果> <input type="checkbox"/> 反映 <input type="checkbox"/> 一部反映 <input type="checkbox"/> 不採用 <input type="checkbox"/> 実施済み <input type="checkbox"/> 参考	<左記の理由>
	現状維持 一部見直し 大幅見直し		
	拡大方向 現状維持 縮小方向 統合 休・廃止		

平成21年度(20年度実施事業)事業評価シート (教育委員会評価)

整理番号	教 - 3	事業名	芸術文化振興奨励補助金事務		
総合計画	テーマ	5	心豊かに学びいきいきと活動するまち	担当部	生涯学習部
	施策	4	芸術・文化の振興	担当課	社会教育課
	施策(小)	1	芸術・文化団体の支援や文化交流	電話番号	72-3173
担当	担当者	板谷 英 郁			
予算科目	会計	一般	款	10	教育費
			項	5	社会教育費
			目	4	文化振興費
事業名	芸術文化振興奨励補助金				
事務分類	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他				
根拠法令、条例等					
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 平成 9 年度 ~ 未定 年度				

事業の内容	対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	主に市内在住者で構成され、日常的な活動拠点が市内にある団体か個人	対象数	60000人
		対象数	
	目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?) → 成果指標		
	市民の自主的・主体的な芸術文化活動を支援して、石狩市における文化活動の充実を図る。		
	手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します) → 活動指標		
	申請があった場合、社会教育委員の会議等に諮問し、答申を得た後補助金を交付する。 ・芸術文化振興事業、文化財保護・保存事業に対し補助経費の1/2以内(上限500,000円)以内の補助金を交付する。 ・より多くを対象とするため、同じ事業や2年続けて同じ団体には交付しない。		
	事業の背景・個別計画・社会状況・他の類似事業等		
	この事業は、団体等の自主的な芸術文化事業に対する唯一の補助制度である。		
関係する団体等			
石狩市社会教育委員の会議、文化財保護審議会			
平成20年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			

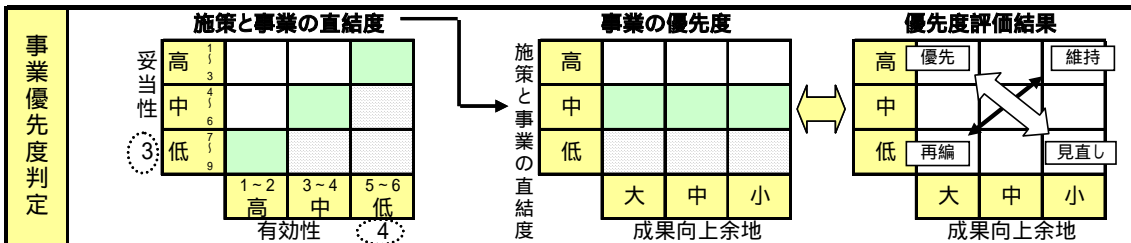
		単位	H18	H19	H20	H21(予算)
事業のコスト	事業費	財源内訳				
		国庫支出金	千円			
		道支出金	千円			
		地方債	千円			
	その他	千円				
	一般財源	千円	650	500	500	500
	小計(A)	千円	650	500	500	500
人件費等	正職員従事人数	人	0.10	0.03	0.03	特定財源名及び補助率・充当率
	従事正職員の人件費	千円	829	269	266	
	その他間接経費	千円				
	小計(B)	千円	829	269	266	
総コスト(A)+(B)	千円	1,479	769	766		

	指標名	単位	項目	H18	H19	H20	H21
活動指標	申請額(計画)	円	目標値	650	500	500	500
			実績値	893	1,030	910	
			達成率	137.4	206.0	182.0	
	申請件数(計画)	件	目標値	未設定	未設定	未設定	4
			実績値	4	3	4	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
			目標値				
			実績値				
			達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	

成果指標	指標名	単位	H18				H19				H20				H21				
			目標値	実績値	達成率	コメント	目標値	実績値	達成率	コメント	目標値	実績値	達成率	コメント	目標値	実績値	達成率	コメント	
事業参加人数	事業参加人数	人	目標値	未設定			未設定			未設定			未設定			未設定			
			実績値	845			407			3,080									
			達成率	#VALUE!			#VALUE!			#VALUE!									
実施事業数	実施事業数	件	目標値	未設定			未設定			未設定			未設定			未設定			
			実績値	3			2			4									
			達成率	#VALUE!			#VALUE!			#VALUE!									
			目標値																
			実績値																
			達成率	#DIV/0!					#DIV/0!						#DIV/0!				

1次評価 担当課長が評価します。											
妥当性	ア 施策との関連 事業の成果と施策の成果とに関連があるか	1 大きい 2 普通 3 小さい	1	有効性	ア 成果 事業の成果は目標を達成しているか	1 すべて達成している 2 一部達成している 3 達成していない	2	効率性	イ 事業内容 目指す成果の実現を図る上で、事業の手段は有効か	1 極めて有効 2 一定の有効性あり 3 有効性が低い	2
	イ 統合・連携 目的や形態が類似する事業と統合・連携はできないか	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	1		ウ 市の関与 その事業に市が関与する必要があるかどうか	1 行政にしかできない 2 民間等でもできる 3 民間等でやるべき	1		ア コスト削減 成果を下げず、コスト削減は可能か	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	1
	ウ 市の関与 その事業に市が関与する必要があるかどうか	1 行政にしかできない 2 民間等でもできる 3 民間等でやるべき	1		合計	総合評価参考点	7~11 12~15 16~21		A or B B or C D or E	9	
公平性	ア 受益者負担 受益者負担を見直す必要は無い	1 負担は適正である 2 検討の余地がある 3 見直す必要がある	1								

総合評価				評価の理由			
B	A:極めて良好、B:良好、C:適正、D:問題がある、E:大きな問題がある			会費収入のみで活動している市民や団体にとって、節目での記念的な事業等に活用できることから、金額は小額であるが利用者にとって大きな成果がある。			
	平成22年度の方向性(改革・改善案)			事業の課題			
事業内容				補助の内規のハードルが若干高いこともあり、年々利用しづらい状況も生まれてきている。			
現状維持 一部見直し 大幅見直し				改革・改善の方向性			
事業規模				同一団体、同一事業に関する制限の規定の見直しを図り、文化芸術振興の取り組みを活性化する。			



ここまで担当課長が記載した上で、パブリックコメントを実施し、市民意見を募集します。

1次評価に対する市民意見

2次評価 課長評価に対する市民意見を踏まえて、部長職(もしくは市長)が評価します。									
総合評価				評価の理由及び改革、改善の方向性					
B	A:極めて良好、B:良好、C:適正、D:問題がある、E:大きな問題がある			課長評価を是とするが、課題も見受けられるので、制度内容の検討を行う必要がある。					
	平成22年度の方向性(改革・改善案)				市民意見の反映状況				
事業内容				<結果>		<左記の理由>			
現状維持 一部見直し 大幅見直し				<input type="checkbox"/> 反映 <input type="checkbox"/> 一部反映 <input type="checkbox"/> 不採用 <input type="checkbox"/> 実施済み <input type="checkbox"/> 参考					
事業規模									

平成21年度(20年度実施事業)事業評価シート (教育委員会評価)

整理番号	教 - 4	事業名	博物館資料等収集研究活用事業										
総合計画	テーマ	5	心豊かに学びいきいきと活動するまち	担当部	生涯学習部	部長	三国 義 達						
	施策	4	芸術、文化の振興	担当課	文化財課	課長	石橋 孝 夫						
	施策(小)	3	文化遺産の保存・活用	電話番号	62-3711	担当者	工藤 義 衛						
予算科目	会計	一般	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	10	資料館費	事業名	博物館資料等収集研究活用事業
事務分類	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他												
根拠法令、条例等	教育プラン												
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 平成 16 年度 ~ 未定 年度												

事業の内容	対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)	
	石狩市内に関わりのある自然、歴史、文化に関する資料	対象数
		対象数
	目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?) → 成果指標	
	石狩市の自然、歴史、文化についての資料の保存、研究により基礎資料が作成され、市民に活用される。	
	手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します) → 活動指標	
	石狩市の自然、歴史、文化に関する博物館資料の収集、保存を行う。 博物館資料に関する調査研究を行う。 研究成果を公表・活用する。	
	事業の背景・個別計画・社会状況・他の類似事業等	
	関係する団体等	
	石狩市郷土研究会	
平成20年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果		
研究成果を郷土研究会会誌、学会誌、広報などで発表する。		

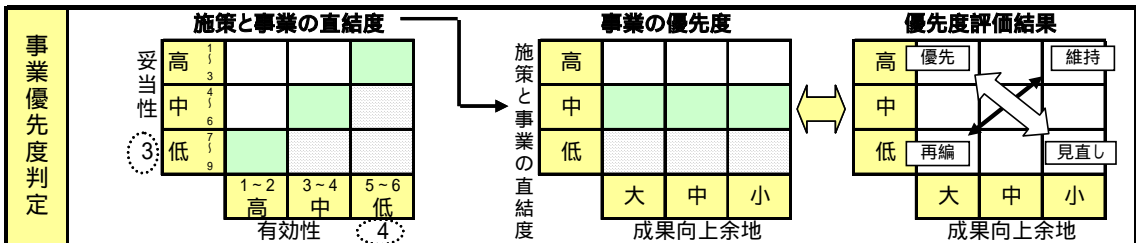
事業の コスト	事業費	財源内訳	単位	H18	H19	H20	H21(予算)
			千円				
		国庫支出金	千円				
		道支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	0	0	0	0
		小計(A)	千円	0	0	0	0
	人件費等	正職員従事人数	人	1.50	1.50	1.50	特定財源名及び補助率・充当率
		従事正職員の人件費	千円	12,428	13,457	13,298	
		その他間接経費	千円				
		小計(B)	千円	12,428	13,457	13,298	
		総コスト(A)+(B)	千円	12,428	13,457	13,298	

活動指標	指標名	単位	項目	H18	H19	H20	H21
収集された博物館資料の点数		点	目標値	50	50	50	50
			実績値	45	69	34	
			達成率	90.0	138.0	68.0	
			目標値				
			実績値				
			達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
			目標値				
			実績値				
			達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	

成果指標	指標名	単位	H18	H19	H20	H21	
	公表された研究結果の件数	件	目標値	3	3	3	3
			実績値	2	3	3	
			達成率	66.7	100.0	100.0	
			目標値				
			実績値				
			達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
		目標値					
		実績値					
		達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		

1次評価 担当課長が評価します。							
妥当性	ア 施策との関連 事業の成果と施策の成果とに関連があるか	1 大きい 2 普通 3 小さい	1	有効性	ア 成果 事業の成果は目標を達成しているか	1 すべて達成している 2 一部達成している 3 達成していない	3
	イ 統合・連携 目的や形態が類似する事業と統合・連携はできないか	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	1		イ 事業内容 目指す成果の実現を図る上で、事業の手段は有効か	1 極めて有効 2 一定の有効性あり 3 有効性が低い	1
	ウ 市の関与 その事業に市が関与する必要があるかどうか	1 行政にしかできない 2 民間等でもできる 3 民間等でやるべき	1		効率性	ア コスト削減 成果を下げず、コスト削減は可能か	1 不可能である 2 難しい 3 可能である
公平性	ア 受益者負担 受益者負担を見直す必要は無い	1 負担は適正である 2 検討の余地がある 3 見直す必要がある	1	合計	総合評価参考点	7~11 A or B 12~15 B or C 16~21 D or E	10

総合評価		評価の理由	
B	A:極めて良好、B:良好、C:適正、D:問題がある、E:大きな問題がある	対象となる資料が膨大なため、成果は十分に達成できたとは言えないが、活動指標は概ね達成している。	
平成22年度の方向性(改革・改善案)		事業の課題	
事業内容 現状維持 一部見直し 大幅見直し		件数は達成しているが、研究成果の公表を行う紀要、年報が無いため、成果の公表方法に制約がある。	
事業規模	拡大方向	改革・改善の方向性	
	現状維持	資料館紀要の発行など自前の公表手段を整備するなど公表量を増やす。	
	縮小方向		
	統合 休・廃止		



ここまで担当課長が記載した上で、パブリックコメントを実施し、市民意見を募集します。

1次評価に対する市民意見

2次評価 課長評価に対する市民意見を踏まえて、部長職(もしくは市長)が評価します。			
総合評価		評価の理由及び改革、改善の方向性	
B	A:極めて良好、B:良好、C:適正、D:問題がある、E:大きな問題がある	課長評価を是とするが、文化財の保護・市民啓発は、当該事業のみ考えるのではなく、広く他と連携した方策に取り組んでいきたい。	
平成22年度の方向性(改革・改善案)		市民意見の反映状況	
事業内容 現状維持 一部見直し 大幅見直し		<結果>	<左記の理由>
事業規模	拡大方向	<input type="checkbox"/> 反映 <input type="checkbox"/> 一部反映 <input type="checkbox"/> 不採用 <input type="checkbox"/> 実施済み <input type="checkbox"/> 参考	
	現状維持		
	縮小方向		
	統合 休・廃止		

平成21年度(20年度実施事業)事業評価シート (教育委員会評価)

整理番号	教 - 5	事業名	いしかり砂丘の風資料館管理運営事業							
総合計画	マ 5	心豊かに学びいきいきと活動するまち	担当部	生涯学習部	部長	三国 義達				
	策 4	芸術、文化の振興	担当課	文化財課	課長	石橋 孝夫				
	施(小) 3	文化遺産の保存・活用	電話番号	62-3711	担当者	工藤 義衛				
予算科目	会計	一般	款	10 教育費	項	5 社会教育費	目	10 資料館費	事業名	いしかり砂丘の風資料館管理運営事業
事務分類	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他									
根拠法令、条例等	教育プラン									
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 平成 16 年度 ~ 未定 年度									

事業の内容	対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)	石狩市民	対象数	60000
	目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?)	市民が石狩市の自然、歴史、文化などを学ぶ機会を提供する。		
	手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します)	博物館資料の収集、調査、研究の成果を砂丘の風資料館で展示、公開するほか、体験学習事業やテーマ展、博物館だより(エスチュアリ)、石狩市広報などを通じて市民に伝える。		
	事業の背景・個別計画・社会状況・他の類似事業等			
	関係する団体等	砂丘の風の会、石狩市郷土研究会		
	平成20年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果	テーマ展、体験講座の開催を通じ、市民の石狩市の自然、歴史に対する理解を深めた。		
	成果指標			
	活動指標			

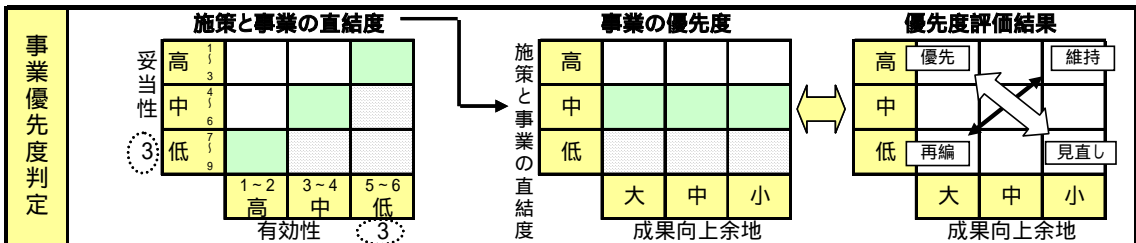
		単位	H18	H19	H20	H21(予算)
事業のコスト	事業費	財源内訳				
		国庫支出金	千円			
		道支出金	千円			
		地方債	千円			
		その他	千円	482	650	616
	一般財源	千円	4,780	2,775	2,782	3,130
	小計(A)	千円	5,262	3,425	3,398	4,030
	人件費等	正職員従事人数	人	2.00	2.00	2.00
従事正職員の人件費		千円	16,570	17,942	17,730	
その他間接経費		千円				
小計(B)		千円	16,570	17,942	17,730	
総コスト(A)+(B)	千円	21,832	21,367	21,128		

活動指標	指標名	単位	項目	H18	H19	H20	H21
				目標値	実績値	達成率	
	体験講座参加者数	人	目標値	30	30	30	
			実績値	24	23	28	
			達成率	80.0	76.7	93.3	
	博物館だより発行回数	回	目標値	4	4	4	
			実績値	4	3	4	
			達成率	100.0	75.0	100.0	
	目標値						
	実績値						
	達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!			

成果指標	指標名	単位	H18	H19	H20	H21
	砂丘の風資料館入館者数	目標値	人	4,000	4,000	4,000
実績値			3,658	3,747	3,065	
達成率			91.5	93.7	76.6	
目標値						
実績値						
達成率				#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	目標値					
	実績値					
	達成率		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	

1次評価 担当課長が評価します。								
妥当性	ア 施策との関連 事業の成果と施策の成果とに関連があるか	1 大きい 2 普通 3 小さい	1	有効性	ア 成果 事業の成果は目標を達成しているか	1 すべて達成している 2 一部達成している 3 達成していない	2	
	イ 統合・連携 目的や形態が類似する事業と統合・連携はできないか	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	1		イ 事業内容 目指す成果の実現を図る上で、事業の手段は有効か	1 極めて有効 2 一定の有効性あり 3 有効性が低い	1	
	ウ 市の関与 その事業に市が関与する必要があるかどうか	1 行政にしかできない 2 民間等でもできる 3 民間等でやるべき	1		効率性	ア コスト削減 成果を下げず、コスト削減は可能か	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	1
公平性	ア 受益者負担 受益者負担を見直す必要は無い	1 負担は適正である 2 検討の余地がある 3 見直す必要がある	1	合計	総合評価 参考点	7~11 12~15 16~21	A or B B or C D or E	8

総合評価		評価の理由	
B	A:極めて良好、B:良好、 C:適正、 D:問題がある、E:大きな問題がある	一部指標を達成していないものもあるが、おおむね指標を達成している。	
平成22年度の方向性(改革・改善案)		事業の課題	
事業内容 現状維持 一部見直し 大幅見直し		入館者数など、達成していない指標の改善が必要である。	
事業規模 拡大方向 現状維持 縮小方向 統合 休・廃止		改革・改善の方向性	
		テーマ展開回数、体験講座の内容などのほか、体制、予算の見直しを行い未達成の指標の改善を図る。	



ここまです担当課長が記載した上で、パブリックコメントを実施し、市民意見を募集します。

1次評価に対する市民意見

2次評価 課長評価に対する市民意見を踏まえて、部長職(もしくは市長)が評価します。			
総合評価		評価の理由及び改革、改善の方向性	
B	A:極めて良好、B:良好、 C:適正、 D:問題がある、E:大きな問題がある	課長評価を是とするが、文化財の保護・市民啓発は、砂丘の風資料館のみの事業で行うのではなく、広く他と連携した方策に取り組んでいきたい。	
平成22年度の方向性(改革・改善案)		市民意見の反映状況	
事業内容 現状維持 一部見直し 大幅見直し		<結果>	<左記の理由>
事業規模 拡大方向 現状維持 縮小方向 統合 休・廃止		<input type="checkbox"/> 反映 <input type="checkbox"/> 一部反映 <input type="checkbox"/> 不採用 <input type="checkbox"/> 実施済み <input type="checkbox"/> 参考	

平成21年度(20年度実施事業)事業評価シート (教育委員会評価)

整理番号	教 - 6		事業名	厚田区・浜益区文化財調査活用事業									
総合計画	テーマ	5	心豊かに学びいきいきと活動するまち	担当部	生涯学習部	部長	三国 義達						
	施策	4	芸術、文化の振興	担当課	文化財課	課長	石橋 孝夫						
	施策(小)	3	文化遺産の保存・活用	電話番号	62-3711	担当者	工藤 義衛						
予算科目	会計	一般	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	7	文化財保護費	事業名	厚田区・浜益区文化財調査活用事業
事務分類	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他												
根拠法令、条例等	教育プラン												
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 平成 16 年度 ~ 未定 年度												

事業の内容	対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)	
	厚田区所蔵文化財	対象数 6000 点
	浜益区所蔵文化財	対象数 11000 点
	目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?) 成果指標	
	厚田区・浜益区の文化財が調査、整理され教育、観光などの基礎資料として活用できるようにする。	
	手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します) 活動指標	
	厚田区、浜益区が所蔵する資料の目録作成 作成した目録等の公開	
	事業の背景・個別計画・社会状況・他の類似事業等	
	関係する団体等	
平成20年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果		
はまます郷土資料館所蔵資料のうち旧浜益村行政文書900点の目録化とデータ入力に取り組み、同文書の目録化が完了した。また、同文書目録約150,000件のデータのうち約1,000件の入力を行った。		

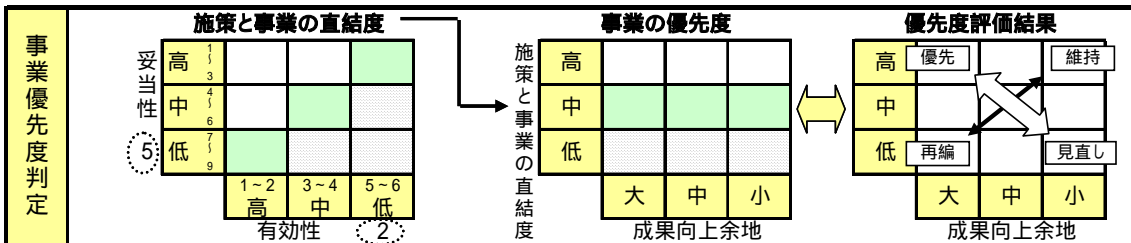
		単位	H18	H19	H20	H21(予算)	
事業のコスト	事業費	財源内訳					
		国庫支出金	千円				
		道支出金	千円		500	500	500
		地方債	千円				
		その他	千円	4,821			
	一般財源	千円	0	399	383	360	
	小計(A)	千円	4,821	899	883	860	
	人件費等	正職員従事人数	人	0.50	0.50	0.50	特定財源名及び補助率・充当率
従事正職員の人件費		千円	4,143	4,486	4,433		
その他間接経費		千円					
小計(B)		千円	4,143	4,486	4,433		
総コスト(A)+(B)		千円	8,964	5,385	5,316		

指標名		単位	項目	H18	H19	H20	H21	
活動指標	目録化された資料の点数	点	目標値	300	400	200	400	
			実績値	300	400	200		
			達成率	100.0	100.0	100.0		
				目標値				
				実績値				
				達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
				目標値				
				実績値				
				達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	

成果指標	指標名	単位	H18	H19	H20	H21
	活用件数	件	目標値 実績値 達成率	未設定 0 #VALUE!	未設定 0 #VALUE!	未設定 0 #VALUE!
			目標値 実績値 達成率	#DIV/0! #DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0! #DIV/0!	
			目標値 実績値 達成率	#DIV/0! #DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0! #DIV/0!	

1次評価 担当課長が評価します。								
妥当性	ア 施策との関連 事業の成果と施策の成果とに関連があるか	1 大きい 2 普通 3 小さい	2	有効性	ア 成果 事業の成果は目標を達成しているか	1 すべて達成している 2 一部達成している 3 達成していない	1	
	イ 統合・連携 目的や形態が類似する事業と統合・連携はできないか	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	2		イ 事業内容 目指す成果の実現を図る上で、事業の手段は有効か	1 極めて有効 2 一定の有効性あり 3 有効性が低い	1	
	ウ 市の関与 その事業に市が関与する必要があるかどうか	1 行政にしかできない 2 民間等でもできる 3 民間等でやるべき	1		効率性	ア コスト削減 成果を下げず、コスト削減は可能か	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	2
公平性	ア 受益者負担 受益者負担を見直す必要は無い	1 負担は適正である 2 検討の余地がある 3 見直す必要がある	1	合計	総合評価 参考点	7~11 12~15 16~21	A or B B or C D or E	10

総合評価		評価の理由	
B	A:極めて良好、B:良好、 C:適正、 D:問題がある、E:大きな問題がある	資料の公表・活用に向け、目録作成など資料整理が予定どおり進んでいる。	
平成22年度の方向性(改革・改善案)		事業の課題	
事業内容 現状維持 一部見直し 大幅見直し		文化財の資料整理は進んできており、一般公開に向けた作業が必要となってきた。	
事業規模	拡大方向	改革・改善の方向性	
	現状維持	整理、データ化した文化財情報の具体的な公開方法の検討	
	縮小方向		
	統合 休・廃止		



ここまで担当課長が記載した上で、パブリックコメントを実施し、市民意見を募集します。

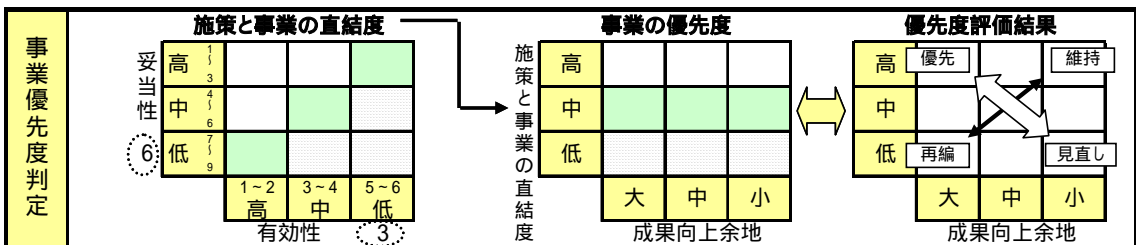
1次評価に対する市民意見

2次評価 課長評価に対する市民意見を踏まえて、部長職(もしくは市長)が評価します。			
総合評価		評価の理由及び改革、改善の方向性	
B	A:極めて良好、B:良好、 C:適正、 D:問題がある、E:大きな問題がある	課長評価を是とする。合併後の新たに加わった厚田・浜益の膨大な資料整理の完了を優先したい。	
平成22年度の方向性(改革・改善案)		市民意見の反映状況	
事業内容 現状維持 一部見直し 大幅見直し		<結果>	<左記の理由>
事業規模	拡大方向	<input type="checkbox"/> 反映	
	現状維持	<input type="checkbox"/> 一部反映	
	縮小方向	<input type="checkbox"/> 不採用	
	統合 休・廃止	<input type="checkbox"/> 実施済み <input type="checkbox"/> 参考	

成果指標	指標名	単位	H18	H19	H20	H21	
	入館者数	人	目標値	1,000	1,000	1,000	400
			実績値	1,034	1,209	302	
			達成率	103.4	120.9	30.2	
			目標値				
			実績値				
			達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
		目標値					
		実績値					
		達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		

1次評価 担当課長が評価します。							
妥当性	ア 施策との関連 事業の成果と施策の成果とに関連があるか	1 大きい 2 普通 3 小さい	2	有効性	ア 成果 事業の成果は目標を達成しているか	1 すべて達成している 2 一部達成している 3 達成していない	2
	イ 統合・連携 目的や形態が類似する事業と統合・連携はできないか	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	2		イ 事業内容 目指す成果の実現を図る上で、事業の手段は有効か	1 極めて有効 2 一定の有効性あり 3 有効性が低い	1
	ウ 市の関与 その事業に市が関与する必要があるかどうか	1 行政にしかできない 2 民間等でもできる 3 民間等でやるべき	2		効率性	ア コスト削減 成果を下げず、コスト削減は可能か	1 不可能である 2 難しい 3 可能である
公平性	ア 受益者負担 受益者負担を見直す必要は無い	1 負担は適正である 2 検討の余地がある 3 見直す必要がある	1	合計	総合評価 参考点	7~11 A or B 12~15 B or C 16~21 D or E	12

総合評価		評価の理由	
B	A:極めて良好、B:良好、 C:適正、 D:問題がある、E:大きな問題がある	特色のある資料室の運営について、地域との協働により、特色のある展示形態にしようとする方向性は地域からも求められているものであり、今後に期待できる。	
平成22年度の方向性(改革・改善案)		事業の課題	
事業内容		新たな構想には費用の増大も思慮されるが、費用対効果を適切に判断し関連団体と協議することが重要である。	
事業規模		改革・改善の方向性	
区民の意見を取り入れ、他の観光資源と一体となった観光PRの実施による管理運営体制の確立を図り、地域の活性化に結び付けることが重要である。			



ここまで担当課長が記載した上で、パブリックコメントを実施し、市民意見を募集します。

1次評価に対する市民意見
事業優先度判定が「中」となっているが、厚田区において資料館の設置が合併時に協議されている事と21年8月に石狩市民図書館で実施された「厚田ゆかりの四人展」への反響から厚田資料室リニューアルを優先度の評価を高く上げるべき。

2次評価 課長評価に対する市民意見を踏まえて、部長職(もしくは市長)が評価します。	
総合評価	評価の理由及び改革、改善の方向性
C	A:極めて良好、B:良好、 C:適正、 D:問題がある、E:大きな問題がある
平成22年度の方向性(改革・改善案)	市民意見の反映状況
事業内容	<結果> <input type="checkbox"/> 反映 <input type="checkbox"/> 一部反映 <input type="checkbox"/> 不採用 <input type="checkbox"/> 実施済み <input checked="" type="checkbox"/> 参考
事業規模	<左記の理由> 優先度判定については、課長評価の内容であり、修正する項目ではないが、御意見の趣旨は意を同じくするところであり、2次評価において、優先度が高いという認識のもと、平成22年度の方向性を記述した。

平成21年度(20年度実施事業)事業評価シート (教育委員会評価)

整理番号	教 - 8	事業名	はまます郷土資料館管理運営事務										
総合計画	テーマ	5	心豊に学びいきいきと活動するまち	担当部	生涯学習部	部長	三国 義達						
	施策	4	芸術・文化の振興	担当課	浜益生涯学習課	課長	新井 春生						
	施策(小)	3	文化遺産の保存活用	電話番号	79-2114	担当者	宮 一作						
予算科目	会計	一般会計	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	11	資料館費	事業名	はまます郷土資料館管理運営
事務分類	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他												
根拠法令、条例等													
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 平成 年度 ~ 年度 永続												

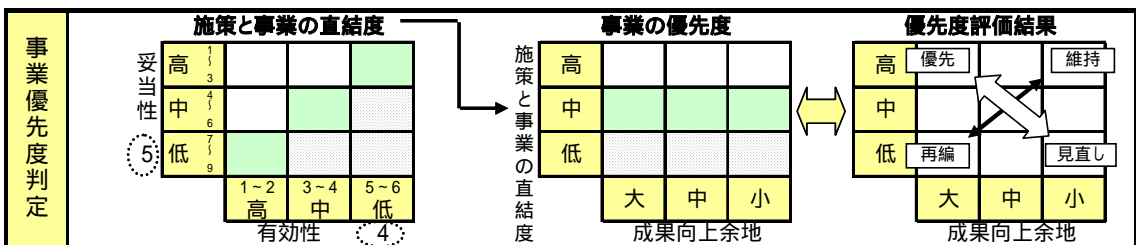
事業の内容	対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)	
	石狩市民	対象数 60,000
	市民以外	対象数
	目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?) → 成果指標	
	浜益での鯨魚の歴史や当時の人々の生活を学び、活用できるようにする。	
	手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します) → 活動指標	
	施設の健全なる維持管理と、資料の収集保存。 当時の鯨魚屋での網元と漁夫の生活空間の中に、鯨魚の道具や生活用品を展示して、見る人に理解を深めてもらう。 入館料:300円(中学生以下無料、団体割引あり) [期間:5~10月末]	
	事業の背景・個別計画・社会状況・他の類似事業等	
	開村百年記念事業として開設 市内施設:砂丘の風資料館 厚田資料室	
	関係する団体等	
平成20年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果		

事業の内容	事業費	財源内訳	単位	H18	H19	H20	H21(予算)
			千円				
		国庫支出金	千円				
		道支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円	387	278	248	390
		一般財源	千円	715	1,207	994	848
		小計(A)	千円	1,102	1,485	1,242	1,238
人件費等		正職員従事人数	人	0.10	0.10	0.10	特定財源名及び補助率・充当率 入館料 31.50%
		従事正職員の人件費	千円	829	897	887	
		その他間接経費	千円				
		小計(B)	千円	829	897	887	
		総コスト(A)+(B)	千円	1,931	2,382	2,129	

活動指標	指標名	単位	項目	H18	H19	H20	H21
展示点数		点	目標値	8,000	8,000	8,000	8,000
			実績値	8,000	8,000	8,000	
			達成率	100.0	100.0	100.0	
開館日数		日	目標値	158	158	158	158
			実績値	158	158	158	
			達成率	100.0	100.0	100.0	
			目標値				
			実績値				
			達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	

成果指標	指標名	単位	H18	H19	H20	H21
	入場者数	目標値	人	1,500	1,500	1,200
実績値			1,535	1,153	1,042	
達成率			102.3	76.9	86.8	
	目標値					
	実績値					
	達成率		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
	目標値					
	実績値					
	達成率		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	

1次評価 担当課長が評価します。							
妥当性	ア 施策との関連 事業の成果と施策の成果とに関連があるか	1 大きい 2 普通 3 小さい	1	有効性	ア 成果 事業の成果は目標を達成しているか	1 すべて達成している 2 一部達成している 3 達成していない	2
	イ 統合・連携 目的や形態が類似する事業と統合・連携はできないか	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	2		イ 事業内容 目指す成果の実現を図る上で、事業の手段は有効か	1 極めて有効 2 一定の有効性あり 3 有効性が低い	2
	ウ 市の関与 その事業に市が関与する必要があるかどうか	1 行政にしかできない 2 民間等でもできる 3 民間等でやるべき	2		効率性	ア コスト削減 成果を下げず、コスト削減は可能か	1 不可能である 2 難しい 3 可能である
公平性	ア 受益者負担 受益者負担を見直す必要は無い	1 負担は適正である 2 検討の余地がある 3 見直す必要がある	1	合計	総合評価 参考点	7~11 A or B 12~15 B or C 16~21 D or E	11
総合評価				評価の理由			
D A:極めて良好、B:良好、 C:適正、 D:問題がある、E:大きな問題がある				来館者数が減少傾向にある。			
平成22年度の方向性(改革・改善案)				事業の課題			
事業規模	事業内容			展示の工夫が必要であり、また、さらに資料館の場所を分かり易くし、展示品を見ることにより興味を持ってもらう必要がある。			
	現状維持 一部見直し 大幅見直し						
	拡大方向						
	現状維持						
	縮小方向						
改革・改善の方向性				展示の内容や方法の工夫、浜益の中心地に案内看板を設置すると共に、展示品を整理して説明書きをする。			
統合							
休・廃止							



ここまで担当課長が記載した上で、パブリックコメントを実施し、市民意見を募集します。

1次評価に対する市民意見

2次評価 課長評価に対する市民意見を踏まえて、部長職(もしくは市長)が評価します。	
総合評価	評価の理由及び改革、改善の方向性
C A:極めて良好、B:良好、 C:適正、 D:問題がある、E:大きな問題がある	参考点に比べ課長評価が低いのは点数に表れない課題を立案してのことと考えるが、参考点も斟酌し、評価変更を行う。今後課題の解決に努力する必要がある。
平成22年度の方向性(改革・改善案)	市民意見の反映状況
事業内容	<結果> <input type="checkbox"/> 反映 <input type="checkbox"/> 一部反映 <input type="checkbox"/> 不採用 <input type="checkbox"/> 実施済み <input type="checkbox"/> 参考
現状維持 一部見直し 大幅見直し	<左記の理由>
事業規模	
拡大方向	
現状維持	
縮小方向	
統合	
休・廃止	

平成21年度(20年度実施事業)事業評価シート

整理番号	5 - 8	事業名	生涯学習講座開催事業(旧公民館講座)							
総合計画	テーマ	5	心豊かに学びいきいきと活動するまち	担当部	生涯学習部	部長	三国 義 達			
	施策	1	生涯学習の推進	担当課	公民館	課長	清水 雅 季			
	施策(小)	2	学習機会の整備・充実	電話番号	74 - 2249	担当者	谷川 裕 之			
予算科目	会計	一般	款	10 教育費	項	5 社会教育費	目	5 公民館費	事業名	生涯学習講座開催費
事務分類	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他									
根拠法令、条例等	社会教育法、石狩市公民館設置条例									
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 昭和 62 年度 ~ 未定 年度									

事業の内容	対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	石狩市民	対象数	60,000 人
		対象数	
	目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?)		
	学習機会を選択しながら、生涯にわたって学び続けられる環境を整える。		
	手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します)		
	市民のニーズや地域課題、年齢層別課題等に基づいた内容の講座を企画実施 「生涯学習講座企画ボランティアの会」のスタッフとともに講座を企画実施		
	事業の背景・個別計画・社会状況・他の類似事業等		
多様化する市民ニーズへの対応を背景に、自主的、自発的な市民参加型の講座開設が望まれる社会状況にあり、近年石狩市では、民間、団体の講座が数多く開催されている。			
関係する団体等			
平成20年度に改善した事項・重点的に取り組んだ事項とその成果			
「生涯学習講座企画ボランティアの会」と「学びのスタンプ運営委員会」との統合により、新たに「いしかり学びをつくる会」に組織を一本化し、同組織と市教委とで運営する「いしかり市民カレッジ」をH21年4月に開校することとした。			

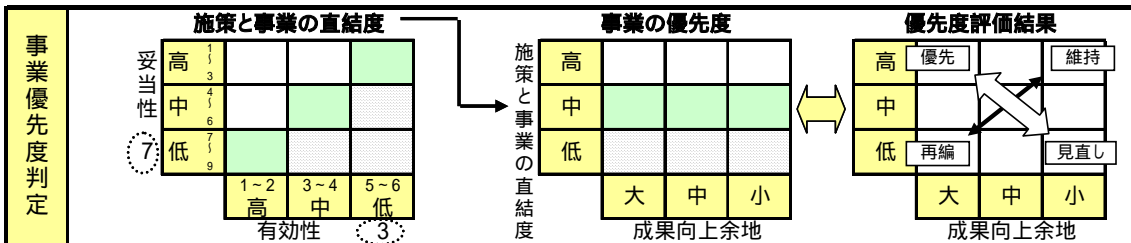
		単位	H18	H19	H20	H21(予算)	
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円				
		道支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円	193	262	150	300
		一般財源	千円	564	600	499	587
		小計(A)	千円	757	862	649	887
人件費等	正職員従事人数	人	3.30	3.30	2.50	特定財源名及び補助率・充当率 講座参加料 34%	
	従事正職員の人件費	千円	27,341	29,604	22,163		
	その他間接経費	千円					
	小計(B)	千円	27,341	29,604	22,163		
	総コスト(A)+(B)	千円	28,098	30,466	22,812		

指標名		単位	項目	H18	H19	H20	H21
活動指標	講座開設数	コマ	目標値	100	100	100	100
			実績値	103	118	95	
			達成率	103.0	118.0	95.0	
講座応募者数	人	目標値	1,030	1,246	928	1,000	
		実績値	1,181	1,391	921		
		達成率	114.7	111.6	99.2		
			目標値				
			実績値				
			達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	

成果指標	指標名	単位	H18	H19	H20	H21
	講座参加者延べ人数 (目標値は講座定員数)	人	目標値 実績値 達成率	2,845 2,562 90.1	3,146 2,856 90.8	2,466 2,116 85.8
		目標値 実績値 達成率	#DIV/0! #DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0! #DIV/0!	
		目標値 実績値 達成率	#DIV/0! #DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0! #DIV/0!	

1次評価 担当課長が評価します。								
妥当性	ア 施策との関連 事業の成果と施策の成果とに関連があるか	1 大きい 2 普通 3 小さい	2	有効性	ア 成果 事業の成果は目標を達成しているか	1 すべて達成している 2 一部達成している 3 達成していない	2	
	イ 統合・連携 目的や形態が類似する事業と統合・連携はできないか	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	3		イ 事業内容 目指す成果の実現を図る上で、事業の手段は有効か	1 極めて有効 2 一定の有効性あり 3 有効性が低い	1	
	ウ 市の関与 その事業に市が関与する必要があるかどうか	1 行政にしかできない 2 民間等でもできる 3 民間等でやるべき	2		効率性	ア コスト削減 成果を下げず、コスト削減は可能か	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	2
公平性	ア 受益者負担 受益者負担を見直す必要はないか	1 負担は適正である 2 検討の余地がある 3 見直す必要がある	1	合計	総合評価 参考点	7~11 12~15 16~21	A or B B or C D or E	13

総合評価		評価の理由	
C	A:極めて良好、B:良好、 C:適正、 D:問題がある、E:大きな問題がある	「いしかり学びをつくる会」との共催の講座や、公民館単独開催の講座など、市民の学びの場となる様々な講座が開催されている。	
	平成22年度の方向性(改革・改善案)	事業の課題	
事業規模	事業内容	「いしかり学びをつくる会」との市民協働により、市民ニーズに合った多様性のある講座を提供できているが、市の施策として取り組まなければならない講座にも力をいれていかなければならない。	
	現状維持 一部見直し 大幅見直し	改革・改善の方向性	
	拡大方向	市民協働によるいしかり市民カレッジの講座とは別に、公民館講座は家庭教育や高齢者の生きがい作りにつながるものなどに特化していく。	
	現状維持		
	縮小方向		
統合			
休・廃止			



ここまで担当課長が記載した上で、パブリックコメントを実施し、市民意見を募集します。

1次評価に対する市民意見

2次評価 課長評価に対する市民意見を踏まえて、部長職(もしくは市長)が評価します。			
総合評価		評価の理由及び改革、改善の方向性	
C	A:極めて良好、B:良好、 C:適正、 D:問題がある、E:大きな問題がある	課長評価どおりとする。なお、今後の改革については、所管課の事業にのみでなく、関係団体や関係機関の取り組みを踏まえ、検討することが望まれる。	
	平成22年度の方向性(改革・改善案)	市民意見の反映状況	
事業規模	事業内容	<結果>	
	現状維持 一部見直し 大幅見直し	<左記の理由>	
	拡大方向	<input type="checkbox"/> 反映	
	現状維持	<input type="checkbox"/> 一部反映	
	縮小方向	<input type="checkbox"/> 不採用	
統合	<input type="checkbox"/> 実施済み		
休・廃止	<input type="checkbox"/> 参考		

平成21年度(20年度実施事業)事業評価シート

整理番号	11 - 5	事業名	特別支援教育運営事業										
総合計画	テーマ	5	心豊かに学びいきいきと活動するまち	担当部	生涯学習部	部長	三国 義達						
	施策	2	学校教育の充実	担当課	就学支援担当	課長	三浦 高行						
	施策(小)	2	特別支援教育の推進	電話番号	72 - 3174	担当者	西田 正人						
予算科目	会計	一般会計	款	10	教育費	項	1	教育総務費	目	6	特別支援教育振興費	事業名	特別支援教育運営事業
事務分類	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 												
根拠法令、条例等	学校教育法												
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 平成 16 年度 ~ 未定 年度												

事業の内容	対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	障がいの有無にかかわらず学校生活や学習上での困り感を持つ児童生徒及びその保護者 市内小中学校	対象数	5,077 人
		対象数	22 校
	目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?)		成果指標
	学校生活や学習上での困り感を持つ児童生徒及びその保護者の困り感の軽減と改善を図る		
	手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します)		活動指標
	1 校内コーディネーターの補助等を行う「TA(ティーチングアシスタント)」を学校に配置する。 校内コーディネーター：特別支援教育推進のための校内委員会を開催したり、保護者や関係諸機関の相談窓口を担当する教職員(各校1名以上が担当) 2 学級担任の補助等を行う「特別支援教育支援員(地域の人材)」を学級に配置する。 3 「就学カンファレンスチーム会議(医師、臨床心理士、特別支援学級担任等で構成)」を開催し、支援の必要な児童生徒に関する検討・相談を行う。		
	事業の背景・個別計画・社会状況・他の類似事業等		
	平成19年度から「特別支援教育」が学校教育法に位置づけられ、すべての学校において、障がいのある児童生徒等の支援(特別支援教育支援員に対する地方財政措置等の実施)をさらに充実していくこととなった。		
	関係する団体等		
平成20年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			
特別支援教育支援員4名を4小中学校に配置			

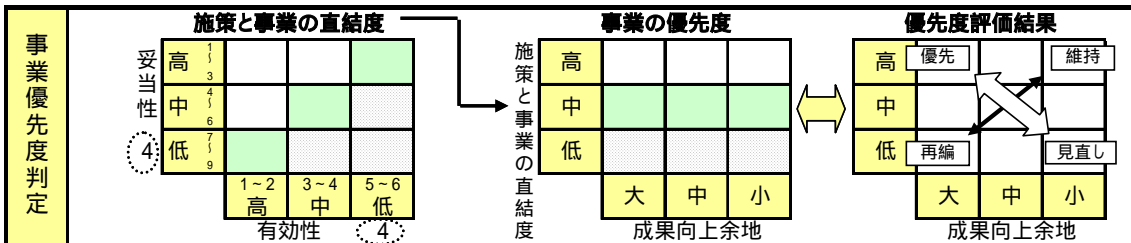
事業の成本		単位	H18	H19	H20	H21(予算)	
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円				
		道支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円	15,147	14,858	17,917	20,969
	小計(A)	千円	15,147	14,858	17,917	20,969	
人件費等	正職員従事人数	人	1.00	1.00	1.50	特定財源名及び補助率・充当率	
	従事正職員の人件費	千円	8,285	8,971	13,298		
	その他間接経費	千円					
	小計(B)	千円	8,285	8,971	13,298		
	総コスト(A)+(B)	千円	23,432	23,829	31,215		

	指標名		単位	項目	H18	H19	H20	H21
	活動指標	TAの配置数	人	目標値		7	7	7
実績値					7	7	7	
達成率					100.0	100.0	100.0	
特別支援教育支援員の配置校数		校	目標値				22	22
			実績値				4	
			達成率				18.2	
特別支援学級の設置校数	校	目標値		22	22	22	22	
		実績値		10	12	13		
		達成率		45.5	54.5	59.1		

成果指標	指標名	単位	H18	H19	H20	H21	
	特別支援学級在籍者数	人	46	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	46	47	67	
			達成率				
	「就学カンファレンスチーム会議」検討件数	件	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	64	113	129	
			達成率				
目標値							

1次評価 担当課長が評価します。								
妥当性	ア 施策との関連 事業の成果と施策の成果とに関連があるか	1 大きい 2 普通 3 小さい	2	有効性	ア 成果 事業の成果は目標を達成しているか	1 すべて達成している 2 一部達成している 3 達成していない	2	
	イ 統合・連携 目的や形態が類似する事業と統合・連携はできないか	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	1		イ 事業内容 目指す成果の実現を図る上で、事業の手段は有効か	1 極めて有効 2 一定の有効性あり 3 有効性が低い	2	
	ウ 市の関与 その事業に市が関与する必要があるかどうか	1 行政にしかできない 2 民間等でもできる 3 民間等でやるべき	1		効率性	ア コスト削減 成果を下げず、コスト削減は可能か	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	1
公平性	ア 受益者負担 受益者負担を見直す必要は無い	1 負担は適正である 2 検討の余地がある 3 見直す必要がある	1	合計	総合評価参考点	7~11 12~15 16~21	A or B B or C D or E	10

総合評価		評価の理由	
B	A:極めて良好、B:良好、C:適正、D:問題がある、E:大きな問題がある	特別支援教育支援員の配置により、障がい特性に見合った学習指導が図られた。	
平成22年度の方向性(改革・改善案)		事業の課題	
事業内容 現状維持 一部見直し 大幅見直し		支援が必要な児童・生徒数が増加しており、学校及び保護者から特別支援教育支援員の増員が望まれている。	
事業規模	拡大方向	改革・改善の方向性	
	現状維持	TAの配置を特別支援教育支援員の配置へシフトしていく。	
	縮小方向		
	統合 休・廃止		



ここまで担当課長が記載した上で、パブリックコメントを実施し、市民意見を募集します。

1次評価に対する市民意見

2次評価 課長評価に対する市民意見を踏まえて、部長職(もしくは市長)が評価します。			
総合評価	A:極めて良好、B:良好、C:適正、D:問題がある、E:大きな問題がある	評価の理由及び改革、改善の方向性	
		特別支援教育の円滑な推進にとって、TA及び支援員を配置する同事業の役割が最も大きいことに鑑み評価変更を行う。今後はその役割が益々期待されることからスタッフの増員など、さらに拡大を図っていきたい。	
平成22年度の方向性(改革・改善案)		市民意見の反映状況	
事業内容 現状維持 一部見直し 大幅見直し		<結果>	<左記の理由>
事業規模	拡大方向	<input type="checkbox"/> 反映 <input type="checkbox"/> 一部反映 <input type="checkbox"/> 不採用 <input type="checkbox"/> 実施済み <input type="checkbox"/> 参考	
	現状維持		
	縮小方向		
	統合 休・廃止		

平成21年度(20年度実施事業)事業評価シート

整理番号	11 - 14	事業名	不登校児童生徒支援事業				
総合計画	テーマ	5	心豊かに学びいきいきと活動するまち	担当部	生涯学習部	部長	三国 義 達
	施策	2	学校教育の充実	担当課	就学支援担当	課長	三浦 高 行
	施策(小)	4	いじめなどの問題や不登校への対応	電話番号	72-3174	担当者	川畑 昌 博
予算科目	会計	一般会計	款10教育費	項5社会教育費	目2青少年教育費	事業名	不登校児童生徒支援事業
事務分類	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <div style="display: inline-block; vertical-align: middle;"> <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 </div>						
根拠法令、条例等							
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 平成 13 年度 ~ 未定 年度						

事業の内容	対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	長期欠席児童生徒	対象数	60 人
		対象数	
	目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?) → 成果指標		
	長期欠席児童生徒の学校復帰及び社会的自立を図る。		
	手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します) ⇒ 活動指標		
	集団生活への適応・情緒の安定、基礎学力の補充、生活習慣の改善のための相談・適応指導を行う「石狩市教育支援教室(ふらっとくらぶ)」を運営する。		
	事業の背景・個別計画・社会状況・他の類似事業等		
	不登校児童生徒が学校生活への復帰を支援する「適応指導教室」の設置及び指導員や施設設備の充実を文部科学省も推進している。管内では北広島市、恵庭市、千歳市が同様の事業を行なっている。		
	関係する団体等		
平成20年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			
福祉の知識を持ったスクールソーシャルワーカーを1名(非常勤職員)配置した。			

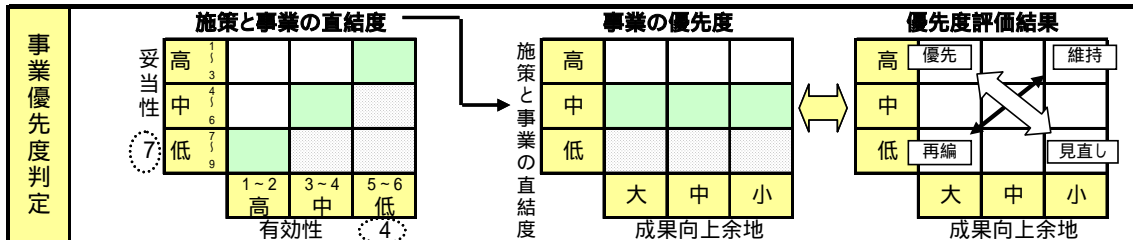
事業の コスト	事業費	財源内訳	単位	H18	H19	H20	H21(予算)
			国庫支出金	千円			
道支出金	千円		1,100	900	855	1,096	
地方債	千円						
その他	千円						
一般財源	千円		4,088	3,969	5,720	6,009	
小計(A)	千円		5,188	4,869	6,575	7,105	
人件費等	正職員従事人数	人	0.60	0.70	0.40	特定財源名及び補助率・充当率 スクールソーシャルワーカー活用事業	
	従事正職員の人件費	千円	4,971	6,280	3,546		
	その他間接経費	千円					
	小計(B)	千円	4,971	6,280	3,546		
	総コスト(A)+(B)	千円	10,159	11,149	10,121		

活動指標	指標名		単位	項目	H18	H19	H20	H21
	教育支援教室(ふらっとくらぶ)在籍者数	人	目標値		30	30	30	30
実績値				14	8	12		
達成率				46.7	26.7	40.0		
教育支援教室(ふらっとくらぶ)開級日数	日	目標値		242	239	239	236	
		実績値		242	239	239		
		達成率		100.0	100.0	100.0		
		目標値						
		実績値						
		達成率						

成果指標	指標名	単位	H18	H19	H20	H21	
	学校復帰人数	人	目標値	40	40	40	40
			実績値	19	29	28	
			達成率	47.5	72.5	70.0	

1次評価 担当課長が評価します。							
妥当性	ア 施策との関連 事業の成果と施策の成果とに関連があるか	1 大きい 2 普通 3 小さい	2	有効性	ア 成果 事業の成果は目標を達成しているか	1 すべて達成している 2 一部達成している 3 達成していない	2
	イ 統合・連携 目的や形態が類似する事業と統合・連携はできないか	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	3		イ 事業内容 目指す成果の実現を図る上で、事業の手段は有効か	1 極めて有効 2 一定の有効性あり 3 有効性が低い	2
	ウ 市の関与 その事業に市が関与する必要があるかどうか	1 行政にしかできない 2 民間等でもできる 3 民間等でやるべき	2		効率性	ア コスト削減 成果を下げず、コスト削減は可能か	1 不可能である 2 難しい 3 可能である
公平性	ア 受益者負担 受益者負担を見直す必要はないか	1 負担は適正である 2 検討の余地がある 3 見直す必要がある	1	合計	総合評価参考点	7~11 A or B 12~15 B or C 16~21 D or E	14

総合評価		評価の理由	
C	A:極めて良好、B:良好、 C:適正、 D:問題がある、E:大きな問題がある	長期欠席者の学校復帰につながっている。	
	平成22年度の方向性(改革・改善案)	事業の課題	
事業規模	事業内容	不登校児童生徒が抱える問題は多様化しており、対応できる人材の確保が必要である。	
	現状維持 一部見直し 大幅見直し	改革・改善の方向性	
	拡大方向 現状維持 縮小方向 統合 休・廃止	不登校の他、いじめや問題行動、子どもや保護者が抱える困り感などに総合的に対応するシステムを相談員、教職員と連携して構築する。	



ここまですべて担当課長が記載した上で、パブリックコメントを実施し、市民意見を募集します。

1次評価に対する市民意見

2次評価 課長評価に対する市民意見を踏まえて、部長職(もしくは市長)が評価します。			
総合評価		評価の理由及び改革、改善の方向性	
B	A:極めて良好、B:良好、 C:適正、 D:問題がある、E:大きな問題がある	市行政評価委員会報告も考慮し、評価変更を行う。今後よりきめ細やかな対応ができるよう組織も含め体制の見直しを図っていきたい。	
	平成22年度の方向性(改革・改善案)	市民意見の反映状況	
事業規模	事業内容	<結果>	
	現状維持 一部見直し 大幅見直し	<input type="checkbox"/> 反映 <input type="checkbox"/> 一部反映 <input type="checkbox"/> 不採用 <input type="checkbox"/> 実施済み <input type="checkbox"/> 参考	
	拡大方向 現状維持 縮小方向 統合 休・廃止	<左記の理由>	

平成21年度(20年度実施事業)事業評価シート

整理番号	11 - 13	事業名	スクールカウンセラー設置事業				
総合計画	テーマ	5	心豊かに学びいきいきと活動するまち	担当部	生涯学習部	部長	三国 義達
	施策	2	学校教育の充実	担当課	就学支援担当	課長	三浦 高行
	施策(小)	4	いじめなどの問題や不登校への対応	電話番号	72-3174	担当者	川畑 昌博
予算科目	会計	一般会計	款10教育費	項1教育総務費	目4義務教育振興	事業名	スクールカウンセラー設置事業
事務分類	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 → <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
根拠法令、条例等							
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 平成 7 年度 ~ 未定 年度						

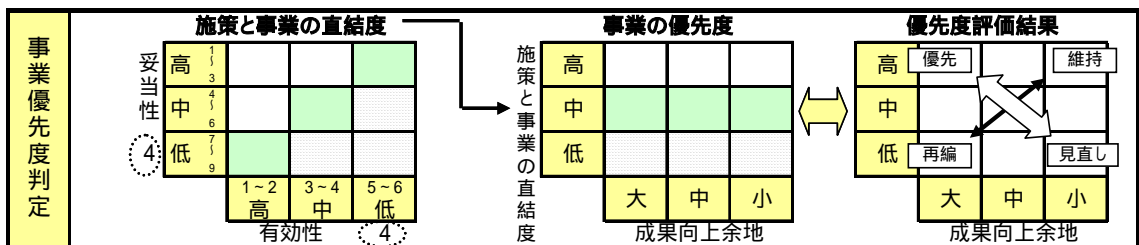
事業の内容	対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	児童生徒、保護者及び教員等	対象数	7,000 人
		対象数	
	目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?) → 成果指標		
	児童生徒や保護者などの悩み、精神的不安を解消・軽減し、児童生徒が良好な学校生活を送ることができるようにする。		
	手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します) → 活動指標		
	スクールカウンセラー(臨床心理士 以下SCとする)を週1~2回、中学校に配置する。 <SCの業務> ・児童生徒や保護者等からの相談に対応し、不安の解消や心のケアを行う ・長期欠席児童生徒、不登校児童生徒に対し、家庭訪問や電話並びに保護者への支援を行う		
	事業の背景・個別計画・社会状況・他の類似事業等		
	平成7年度に文部科学省が不登校・問題行動の未然防止や早期発見、早期解決のため、児童生徒や保護者が悩みや不安、ストレスを解決することを目的に「心の専門家」であるSCを全国全ての中学校に配置をすすめてきた。		
	関係する団体等		
平成20年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			
SCを1名増員し、5名とした。			

事業の コスト	事業費	財源内訳	単位	H18	H19	H20	H21(予算)
			千円				
		国庫支出金	千円				
		道支出金	千円	350	1,337	987	
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円	1,016	1,325	1,657	2,645
		小計(A)	千円	1,366	2,662	2,644	2,645
	人件費等	正職員従事人数	人	0.35	0.43	0.25	特定財源名及び補助率・充当率
		従事正職員の人件費	千円	2,900	3,858	2,216	
		その他間接経費	千円				
		小計(B)	千円	2,900	3,858	2,216	
		総コスト(A)+(B)	千円	4,266	6,520	4,860	

活動指標	指標名	単位	項目	H18	H19	H20	H21
活動指標	1校あたりの年間配置日数	日	目標値	35	35	35	35
			実績値	35	35	33	
			達成率	100.0	100.0	94.3	
		目標値					
		実績値					
		達成率					
	目標値						
	実績値						
	達成率						

成果指標	指標名	単位	H18	H19	H20	H21
	相談件数	目標値	件	1,000	1,000	1,000
実績値			1,663	1,613	644	
達成率			166.3	161.3	64.4	
目標値						
実績値						
達成率						

1次評価 担当課長が評価します。							
妥当性	ア 施策との関連 事業の成果と施策の成果とに関連があるか	1 大きい 2 普通 3 小さい	2	有効性	ア 成果 事業の成果は目標を達成しているか	1 すべて達成している 2 一部達成している 3 達成していない	2
	イ 統合・連携 目的や形態が類似する事業と統合・連携はできないか	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	1		イ 事業内容 目指す成果の実現を図る上で、事業の手段は有効か	1 極めて有効 2 一定の有効性あり 3 有効性が低い	2
	ウ 市の関与 その事業に市が関与する必要があるかどうか	1 行政にしかできない 2 民間等でもできる 3 民間等でやるべき	1		効率性	ア コスト削減 成果を下げず、コスト削減は可能か	1 不可能である 2 難しい 3 可能である
公平性	ア 受益者負担 受益者負担を見直す必要はないか	1 負担は適正である 2 検討の余地がある 3 見直す必要がある	1	合計	総合評価 参考点	7~11 A or B 12~15 B or C 16~21 D or E	11
総合評価				評価の理由			
C A:極めて良好、B:良好、 C:適正、 D:問題がある、E:大きな問題がある				児童生徒や保護者等に対する対応により、悩みや不安の解消が図られた。			
平成22年度の方向性(改革・改善案)				事業の課題			
事業内容				児童生徒や保護者等が抱える問題が多様化しており、よりきめ細やかな対応のため活動日数を増やしたり、SCや相談員の増員が必要である。			
事業規模	現状維持	一部見直し	大幅見直し	改革・改善の方向性			
	拡大方向			SCの増員や活動日数を増やすことを検討していく。			
	現状維持						
	縮小方向						
	統合 休・廃止						



ここまで担当課長が記載した上で、パブリックコメントを実施し、市民意見を募集します。

1次評価に対する市民意見

2次評価 課長評価に対する市民意見を踏まえて、部長職(もしくは市長)が評価します。							
総合評価				評価の理由及び改革、改善の方向性			
B A:極めて良好、B:良好、 C:適正、 D:問題がある、E:大きな問題がある				同事業の良好性、総合評価点を考慮し、評価変更を行う。心のサポートのニーズは今後も益々高まることが想定されるので、この事業も含め常に善処していきたい。			
平成22年度の方向性(改革・改善案)				市民意見の反映状況			
事業内容				< 結果 >		< 左記の理由 >	
事業規模	現状維持	一部見直し	大幅見直し	<input type="checkbox"/> 反映 <input type="checkbox"/> 一部反映 <input type="checkbox"/> 不採用 <input type="checkbox"/> 実施済み <input type="checkbox"/> 参考			
	拡大方向						
	現状維持						
	縮小方向						
	統合 休・廃止						

平成21年度(20年度実施事業)事業評価シート

整理番号	5 - 2	事業名	読書・学習支援事業				
総合計画	テーマ	5 心豊かに学びいきいきと活動するまち	担当部 生涯学習部 部長 渡邊 育志				
	施策	1 生涯学習の推進	担当課 市民図書館 課長 丹羽 秀人				
	施策(小)	学習情報の提供と相談体制の整備・充実	電話番号 72-2000 担当者 五東 秀一				
予算科目	会計	一般会計 款 10 教育費 項 5 社会教育費 目 9 図書館費	事業名 図書館運営費				
事務分類	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <table style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>→</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 直営</td> </tr> <tr> <td>→</td> <td><input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他</td> </tr> </table>			→	<input checked="" type="checkbox"/> 直営	→	<input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他
→	<input checked="" type="checkbox"/> 直営						
→	<input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他						
根拠法令、条例等							
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 平成 12 年度 ~ 未定 年度						

事業の内容	対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)	
	全市民。	対象数 6万人
	目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?) → 成果指標	
	市民が豊かな学習機会を享受できるようにする。	
	手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します) → 活動指標	
	図書館講座、講演会、図書館まつり等の実施 特集コーナーの設置、特別展示等の実施 小中学校等に対する図書館活用ガイドンスの実施	
	事業の背景・個別計画・社会状況・他の類似事業等	
	情報・高齢社会において、図書館に対する関心が高まり、また、要求も多様化してきている。当該事業は、生涯学習のきっかけをつくり、学習行為を深める機会及び図書館自体のPRとして多くの図書館で行われている。	
	関係する団体等	
	講座等にはフロアボランティアの参加(企画・運営)あり。図書館まつりは運営委員会を図書館ボランティアを中心とした市民が構成し、企画運営を実施。その他サイエンスアイ、えいあい館が定期的に活動。	
平成20年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果		

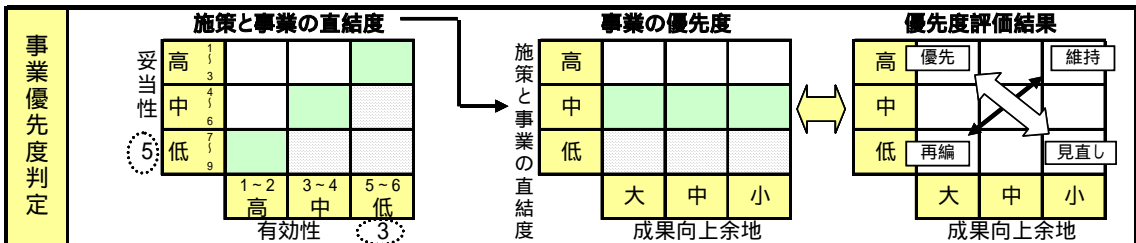
		単位	H18	H19	H20	H21(予算)	
事業のコスト	事業費	財源内訳					
		国庫支出金	千円				
		道支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
	一般財源	千円	350	370	370	370	
	小計(A)	千円	350	370	370	370	
	人件費等	正職員従事人数	人	1.52	1.52	1.80	特定財源名及び補助率・充当率
		従事正職員の人件費	千円	12,593	13,636	15,957	
		その他間接経費	千円				
小計(B)		千円	12,593	13,636	15,957		
総コスト(A)+(B)		千円	12,943	14,006	16,327		

指標名		単位	項目	H18	H19	H20	H21
活動指標	図書館講座開催回数(回)	回	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	5	7	7	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
	特別展示回数(回)	回	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	4	4	7	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
	小中学校に対する図書館活用指導の実施回数(回)	回	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	27	15	5	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	

成果指標	指標名	単位	H18	H19	H20	H21	
	図書館講座参加者数(人)	人	目標値	150	200	150	200
			実績値	163	278	400	
			達成率	108.7	139.0	266.7	
	図書館まつり当日の来館者数(人) (開催日数はH18:3日、H19:2日、H20:2日、H21:2日)	人	目標値	6,000	4,000	4,000	4,000
実績値			6,408	4,239	5,301		
達成率			106.8	106.0	132.5		
図書館登録者数(人)	人	目標値	39,890	43,081	46,096	48,862	
		実績値	40,071	33,202	36,954		
		達成率	100.5	77.1	80.2		

1次評価 担当課長が評価します。							
妥当性	ア 施策との関連 事業の成果と施策の成果とに関連があるか	1 大きい 2 普通 3 小さい	1	有効性	ア 成果 事業の成果は目標を達成しているか	1 すべて達成している 2 一部達成している 3 達成していない	2
	イ 統合・連携 目的や形態が類似する事業と統合・連携はできないか	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	2		イ 事業内容 目指す成果の実現を図る上で、事業の手段は有効か	1 極めて有効 2 一定の有効性あり 3 有効性が低い	1
	ウ 市の関与 その事業に市が関与する必要があるかどうか	1 行政にしかできない 2 民間等でもできる 3 民間等でやるべき	2		効率性	ア コスト削減 成果を下げず、コスト削減は可能か	1 不可能である 2 難しい 3 可能である
公平性	ア 受益者負担 受益者負担を見直す必要はないか	1 負担は適正である 2 検討の余地がある 3 見直す必要がある	1	合計	総合評価 参考点	7~11 A or B 12~15 B or C 16~21 D or E	11

総合評価		評価の理由	
A	A:極めて良好、B:良好、 C:適正、 D:問題がある、E:大きな問題がある	図書館講座、図書館まつりともボランティアとの協働が推進され、よいアイデアもあり、市民ニーズにマッチした企画で参加者が大幅に増えた。	
	平成22年度の方向性(改革・改善案)	事業の課題	
事業内容		図書館利用が増加し、ボランティアも増えていくような企画がもっと必要。	
事業規模		改革・改善の方向性	
現状維持 一部見直し 大幅見直し		図書館の蔵書が有効に活用され、市民の生涯学習活動がさらに活発になるよう事業メニューの充実と市民との協働による事業展開を図る必要がある。	



ここまで担当課長が記載した上で、パブリックコメントを実施し、市民意見を募集します。

1次評価に対する市民意見

2次評価 課長評価に対する市民意見を踏まえて、部長職(もしくは市長)が評価します。			
総合評価		評価の理由及び改革、改善の方向性	
A	A:極めて良好、B:良好、 C:適正、 D:問題がある、E:大きな問題がある	図書館まつり・図書館講座は充実が図られている。今後は、各種の取り組みの中で、市民協働の実現をより一層追求してゆく必要がある。	
	平成22年度の方向性(改革・改善案)	市民意見の反映状況	
事業内容		<結果>	
現状維持 一部見直し 大幅見直し		<input type="checkbox"/> 反映 <input type="checkbox"/> 一部反映 <input type="checkbox"/> 不採用 <input type="checkbox"/> 実施済み <input type="checkbox"/> 参考	
事業規模		<左記の理由>	
拡大方向 現状維持 縮小方向 統合 休・廃止			

平成21年度(20年度実施事業)事業評価シート

整理番号	5 - 9	事業名	図書館運営事業										
総合計画	テーマ	5	心豊かに学びいきいきと活動するまち	担当部	生涯学習部	部長	渡 邊 齊 志						
	施策	1	生涯学習の推進	担当課	市民図書館	課長	丹 羽 秀 人						
	施策(小)		学習機会の整備・充実	電話番号	72-2000	担当者	五 東 秀 一						
予算科目	会計	一般会計	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	9	図書館費	事業名	図書館運営費
事務分類	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他												
根拠法令、条例等													
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 平成 12 年度 ~ 未定 年度												

事業の内容	対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)	
	全市民。	対象数 6万人 対象数
	目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?) → 成果指標	
	生涯学習及び地域文化の創造の重要な拠点となり、市民の生涯学習を推進する。	
	手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します) → 活動指標	
	図書館資料の収集(図書、雑誌、新聞、視聴覚資料等)及び提供 レファレンスサービスの実施 特集コーナー、特別展示の実施 土/日/祝日開館及び夜間開館(水/木は午後8時まで 本館のみ) 図書館施設維持管理 分館の設置(花川南、八幡、厚田、浜益) 図書館協議会の提言を受けて運営。	
	事業の背景・個別計画・社会状況・他の類似事業等	
	余暇のための図書館としてだけでなく、市民生活における様々な課題解決のための情報提供施設としての機能が求められている。	
関係する団体等		
平成20年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果		
花川北分館の廃止後、石狩市市民活動情報センター(ばぼらーと)との協働による図書サービスの実施。 月末休館日(年12日)の日数を年3日(6、10、2月)に減。 司書のレファレンス技術向上のための館内研修の充実。(不定期を毎週開催)		

事業の コスト	事業費	財源内訳	単位	H18	H19	H20	H21(予算)
			国庫支出金	千円			
道支出金	千円						
地方債	千円						
その他	千円						
一般財源	千円		100,439	90,636	89,465	90,178	
小計(A)	千円		100,439	90,636	89,465	90,178	
人件費等	正職員従事人数	人	2.76	2.76	4.58	特定財源名及び補助率・充当率	
従事正職員の人件費	千円		22,867	24,760	40,602		
その他間接経費	千円						
小計(B)	千円		22,867	24,760	40,602		
総コスト(A)+(B)	千円		123,306	115,396	130,067		

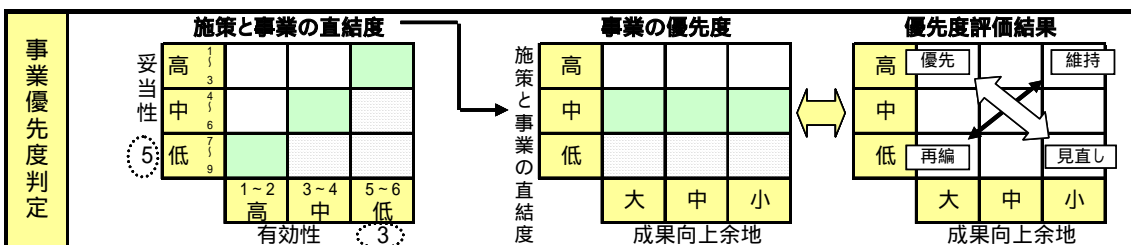
活動指標	指標名	単位	項目	H18	H19	H20	H21
				本館	冊	目標値	未設定
本の受入冊数(全館分)(冊) (「本」には雑誌、視聴覚資料等も含む)	冊	実績値	17,981	12,021	11,380		
		達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		
		目標値	276	276	289	284	
開館日数(本館)(日)	日	実績値	276	276	289		
		達成率	100.0	100.0	100.0		
		目標値					

成果指標	指標名	単位	H18	H19	H20	H21
	本の貸出冊数(全館分)(冊)	目標値	冊	未設定	未設定	未設定
実績値			676,757	661,603	634,097	
達成率			#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
図書館登録者数(人)	目標値	人	39,890	43,081	46,096	48,862
	実績値		40,071	33,202	36,954	
	達成率		100.5	77.1	80.2	
本館入館者数(人)	目標値	人	未設定	未設定	未設定	未設定
	実績値		297,318	284,482	293,666	
	達成率		#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	

1次評価 担当課長が評価します。								
妥当性	ア 施策との関連 事業の成果と施策の成果とに関連があるか	1 大きい 2 普通 3 小さい	1	有効性	ア 成果 事業の成果は目標を達成しているか	1 すべて達成している 2 一部達成している 3 達成していない	2	
	イ 統合・連携 目的や形態が類似する事業と統合・連携はできないか	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	2		イ 事業内容 目指す成果の実現を図る上で、事業の手段は有効か	1 極めて有効 2 一定の有効性あり 3 有効性が低い	1	
	ウ 市の関与 その事業に市が関与する必要があるかどうか	1 行政にしかできない 2 民間等でもできる 3 民間等でやるべき	2		効率性	ア コスト削減 成果を下げず、コスト削減は可能か	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	2
公平性	ア 受益者負担 受益者負担を見直す必要は無いか	1 負担は適正である 2 検討の余地がある 3 見直す必要がある	1	合計	総合評価 参考点	7~11 12~15 16~21	A or B B or C D or E	11

総合評価	評価の理由
B A:極めて良好、B:良好、 C:適正、 D:問題がある、E:大きな問題がある	20年度は、8月の樺太関連事業など話題になる事業展開をした他、月末整理休館を毎月から年3回に減らし、開館日数を増やしたため、利用の増加など運営の努力を行った。

平成22年度の方向性(改革・改善案)		事業の課題
事業内容 現状維持 一部見直し 大幅見直し		市民の期待に応える蔵書を構築するためには新しく購入する図書、雑誌が不足している。
事業規模 拡大方向 現状維持 縮小方向 統合 休・廃止	* * * * *	改革・改善の方向性 蔵書が有効に活用されるよう、司書による人的な支援を強化するとともに、毎年一定程度新しい図書、雑誌を受け入れる必要がある。



ここまで担当課長が記載した上で、パブリックコメントを実施し、市民意見を募集します。

1次評価に対する市民意見

2次評価 課長評価に対する市民意見を踏まえて、部長職(もしくは市長)が評価します。	
総合評価	評価の理由及び改革、改善の方向性
B A:極めて良好、B:良好、 C:適正、 D:問題がある、E:大きな問題がある	蔵書の充実・文献の提供は依然として重要な課題であるが、それにとどまらず、図書館ビジョン(平成21年度末策定予定)に則り、地域のために図書館が果たしている役割に積極的に取り組んでゆく。
平成22年度の方向性(改革・改善案)	市民意見の反映状況
事業内容 現状維持 一部見直し 大幅見直し	<結果> <input type="checkbox"/> 反映 <input type="checkbox"/> 一部反映 <input type="checkbox"/> 不採用 <input type="checkbox"/> 実施済み <input type="checkbox"/> 参考
事業規模 拡大方向 現状維持 縮小方向 統合 休・廃止	<左記の理由>

平成21年度(20年度実施事業)事業評価シート

整理番号	5 - 10	事業名	子どもの読書推進事業										
総合計画	テーマ	5	心豊かに学びいきいきと活動するまち										
	施策	1	生涯学習の推進										
	施策(小)		学習機会の整備・充実										
予算科目	会計	一般会計	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	9	図書館費	事業名	ブックスタート事業費
事務分類	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他												
根拠法令、条例等													
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 平成 18 年度 ~ 未定 年度												

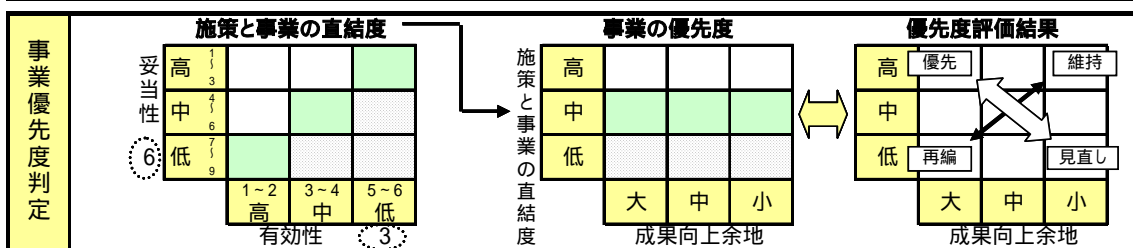
事業の内容	対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)	0歳から高校生まで	対象数	1万人
			対象数	
	目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?)	→ 成果指標		
		読書環境を整備することで、子どもの自主的な読書活動の推進を図り、本を読む子どもを増やす。		
	手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します)	→ 活動指標		
		「ブックスタート事業」市内全ての10ヵ月児と保護者にブックスタートパックを手渡ししながら、絵本の読み聞かせをとおした「言葉かけやふれあいの時間」の大切さを伝える。 「ブックスタートフォローアップ」おはなし会の開催や団体貸出の推進など。 「学校図書室活性化事業」学校図書室整備の指導、協力。		
	事業の背景・個別計画・社会状況・他の類似事業等	ブックスタートは全国的に実施。(実施市区町村自治体700 2009年5月31日現在)		
	関係する団体等	事業の実施に際し、全般に図書館ブックスタートボランティアやおはなしボランティア「びっくりばこ」「文庫連」等が関与。		
	平成20年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果	おはなし会の開催回数の増や図書館まつりの充実等、ボランティアとの協働を図りながら、子どもが本や物語に触れる機会の回数の増に努めた。		

事業のコスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	H18	H19	H20	H21(予算)
			道支出金	千円				
			地方債	千円				
			その他	千円				
			一般財源	千円	1,310	1,168	1,059	1,059
	小計(A)	千円	1,310	1,168	1,059	1,059		
	人件費等	正職員従事人数	人	0.68	0.68	0.60	特定財源名及び補助率・充当率	
		従事正職員の人件費	千円	5,634	6,100	5,301		
		その他間接経費	千円					
		小計(B)	千円	5,634	6,100	5,301		
総コスト(A)+(B)		千円	6,944	7,268	6,360			

活動指標	指標名	単位	項目	H18	H19	H20	H21
	ブックスタートパックの配布人数(人) (目標値は年度末に判明する実数)	人	目標値	530	431	479	未設定
			実績値	473	396	428	
			達成率	89.2	91.9	89.4	
	おはなし会の開催回数(回)	回	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	71	64	89	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
	学校図書室整備の対象校数(校)	校	目標値	1	1	1	2
			実績値	1	1	1	
			達成率	100.0	100.0	100.0	

成果指標	指標名	単位	H18	H19	H20	H21
	児童書の貸出冊数(冊)	目標値	冊	未設定	未設定	未設定
実績値			174,794	173,460	171,412	
達成率			#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
おはなし会への参加人数(人)	目標値	人	未設定	未設定	未設定	未設定
	実績値		1,220	920	1,100	
	達成率		#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
	目標値					
	実績値					
	達成率		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	

1次評価 担当課長が評価します。							
妥当性	ア 施策との関連 事業の成果と施策の成果とに関連があるか	1 大きい 2 普通 3 小さい	2	有効性	ア 成果 事業の成果は目標を達成しているか	1 すべて達成している 2 一部達成している 3 達成していない	2
	イ 統合・連携 目的や形態が類似する事業と統合・連携はできないか	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	2		イ 事業内容 目指す成果の実現を図る上で、事業の手段は有効か	1 極めて有効 2 一定の有効性あり 3 有効性が低い	1
	ウ 市の関与 その事業に市が関与する必要があるかどうか	1 行政にしかできない 2 民間等でもできる 3 民間等でやるべき	2		効率性	ア コスト削減 成果を下げず、コスト削減は可能か	1 不可能である 2 難しい 3 可能である
公平性	ア 受益者負担 受益者負担を見直す必要は無い	1 負担は適正である 2 検討の余地がある 3 見直す必要がある	1	合計	総合評価参考点	7~11 A or B 12~15 B or C 16~21 D or E	12
総合評価			評価の理由				
B A:極めて良好、B:良好、C:適正、D:問題がある、E:大きな問題がある			ボランティアとの協働が進み、おはなし会の開催回数、参加人数とも増加している。				
平成22年度の方向性(改革・改善案)			事業の課題				
事業規模	事業内容			おはなし会を行うボランティアが増えていないので、講座などを通してボランティアを増やし、今後の展開につなげたい。若葉小学校に配置した司書の活用を含め、各学校の図書館担当者、学校教育課との連携を強化していく必要がある。			
	現状維持 一部見直し 大幅見直し			改革・改善の方向性			
	拡大方向			今後は図書館における児童サービスと共に、学校を含め館外に広げていくための、館内体制を作っていく必要がある。			
	現状維持	*					
	縮小方向						
統合							
休・廃止							



ここまで担当課長が記載した上で、パブリックコメントを実施し、市民意見を募集します。

1次評価に対する市民意見

2次評価 課長評価に対する市民意見を踏まえて、部長職(もしくは市長)が評価します。						
総合評価			評価の理由及び改革、改善の方向性			
B A:極めて良好、B:良好、C:適正、D:問題がある、E:大きな問題がある			ブックスタート事業は、フォローアップの充実が図られるなど着実に進展している。今後は、学校司書との連携の下で学校図書館支援を強力に進めていくとともに、巡回文庫の強化等を通じて、子どもの読書環境の充実を進めていく。			
平成22年度の方向性(改革・改善案)			市民意見の反映状況			
事業規模	事業内容			<結果>		<左記の理由>
	現状維持 一部見直し 大幅見直し			<input type="checkbox"/> 反映 <input type="checkbox"/> 一部反映 <input type="checkbox"/> 不採用 <input type="checkbox"/> 実施済み <input type="checkbox"/> 参考		
	拡大方向					
	現状維持					
	縮小方向					
統合						
休・廃止						

平成21年度(20年度実施事業)事業評価シート

整理番号	11 - 8	事業名	石狩市教職員研修事業										
総合計画	テーマ	5	心豊かに学びいきいきと活動するまち	担当部	地域教育推進室	室長	三国 義達						
	施策	2	学校教育の充実	担当課	企画調整担当	課長	東 信也						
	施策(小)	3	教育環境の整備	電話番号	72-3172	担当者	吉田 雅人						
予算科目	会計	一般	款	10	教育費	項	1	教育総務費	目	4	義務教育振興費	事業名	その他義務教育振興事業費
事務分類	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他												
根拠法令、条例等													
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 平成 15 年度 ~ 未定 年度												

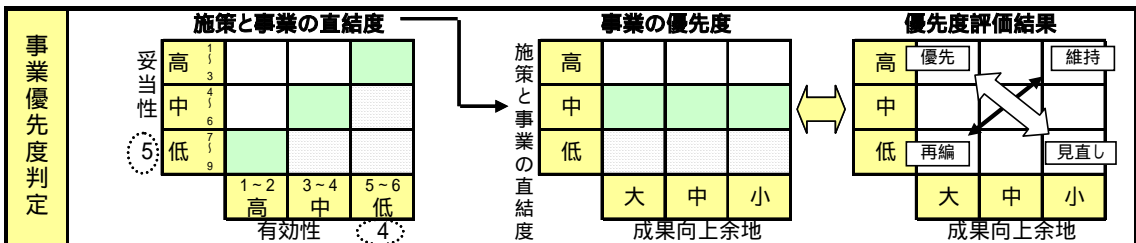
事業の内容	対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)					
	市内小中学校の教職員	<table border="1"> <tr> <td>対象数</td> <td>386 名</td> </tr> <tr> <td>対象数</td> <td></td> </tr> </table>	対象数	386 名	対象数	
	対象数	386 名				
	対象数					
	目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?) → 成果指標					
	市の教育目標の達成や現代的な教育課題を解決するため、専門的知識や実践的な指導力など、教職員の資質が向上するようにする。					
	手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します) → 活動指標					
	夏季休業期間を活用し、「地域理解」「現代的な教育課題」「教育以外の一般教養」をテーマに市独自の教職員研修を実施する。					
	事業の背景・個別計画・社会状況・他の類似事業等					
	石狩市の教育を理解し、地域の独自性を活かした教育活動を推進するため、独自の研修プログラムが求められていた。					
関係する団体等						
平成20年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果						
実施日数を増加し、教職員が受講の選択をしやすいように改善した。						

事業のコスト	事業費	財源内訳	単位	H18	H19	H20	H21(予算)
			国庫支出金	千円			
道支出金	千円						
地方債	千円						
その他	千円						
一般財源	千円		100	100	100	100	
小計(A)	千円		100	100	100	100	
人件費等	正職員従事人数	人	0.30	0.30	0.30	特定財源名及び補助率・充当事	
	従事正職員の人件費	千円	2,486	2,691	2,660		
	その他間接経費	千円					
	小計(B)	千円	2,486	2,691	2,660		
総コスト(A)+(B)	千円		2,586	2,791	2,760		

活動指標	指標名	単位	項目	H18	H19	H20	H21
				実施講座数	個	目標値	10
			実績値	7	10	13	
			達成率	70.0	100.0	130.0	
			目標値				
			実績値				
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				

成果指標	指標名	単位	H18	H19	H20	H21	
	延べ参加人数	人	目標値	450	560	545	500
			実績値	357	470	412	
			達成率	79.3	83.9	75.6	
教職員全体に占める受講者の割合	%	目標値	80	80	80	80	
		実績値	47	74	71		
		達成率	58.8	92.5	88.8		
受講した教職員のうち、有意義だったと感じた人の割合(アンケート調査)	%	目標値		80	80	80	
		実績値		70	92		
		達成率		87.5	115.0		

1次評価 担当課長が評価します。								
妥当性	ア 施策との関連 事業の成果と施策の成果とに関連があるか	1 大きい 2 普通 3 小さい	2	有効性	ア 成果 事業の成果は目標を達成しているか	1 すべて達成している 2 一部達成している 3 達成していない	2	
	イ 統合・連携 目的や形態が類似する事業と統合・連携はできないか	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	2		イ 事業内容 目指す成果の実現を図る上で、事業の手段は有効か	1 極めて有効 2 一定の有効性あり 3 有効性が低い	2	
	ウ 市の関与 その事業に市が関与する必要があるかどうか	1 行政にしかなできない 2 民間等でもできる 3 民間等でやるべき	1		効率性	ア コスト削減 成果を下げず、コスト削減は可能か	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	2
公平性	ア 受益者負担 受益者負担を見直す必要は無い	1 負担は適正である 2 検討の余地がある 3 見直す必要がある	1	合計	総合評価参考点	7~11 12~15 16~21	A or B B or C D or E	12
総合評価				評価の理由				
C A:極めて良好、B:良好、 C:適正、 D:問題がある、E:大きな問題がある				市内小中学校教員の資質能力向上が図られている。				
平成22年度の方向性(改革・改善案)				事業の課題				
事業内容				現代的教育課題への対処やすぐに授業で実践できる具体的な講座など教員研修としての実効性をさらに高める必要がある。				
事業規模	現状維持	一部見直し	大幅見直し	改革・改善の方向性				
	拡大方向			アンケート調査や教職員研修組織との連携などによりニーズを把握し、講座を精選する。				
	現状維持							
	縮小方向							
	統合 休・廃止							



ここまで担当課長が記載した上で、パブリックコメントを実施し、市民意見を募集します。

1次評価に対する市民意見

2次評価 課長評価に対する市民意見を踏まえて、部長職(もしくは市長)が評価します。							
総合評価				評価の理由及び改革、改善の方向性			
B A:極めて良好、B:良好、 C:適正、 D:問題がある、E:大きな問題がある				市サマーセミナーでは、タイムリーな独自研修を設定でき、有意義で良好な事業と解する。よって評価変更を行う。研修テーマは時代の要請に応える必要があり、受講しやすい時期も含め、果敢なく見直しは行っていきたい。			
平成22年度の方向性(改革・改善案)				市民意見の反映状況			
事業内容				< 結果 >		< 左記の理由 >	
事業規模	現状維持	一部見直し	大幅見直し	<input type="checkbox"/> 反映 <input type="checkbox"/> 一部反映 <input type="checkbox"/> 不採用 <input type="checkbox"/> 実施済み <input type="checkbox"/> 参考			
	拡大方向						
	現状維持						
	縮小方向						
	統合 休・廃止						